

第12回 石狩川下流域外減災対策協議会
第7回 石狩川(下流)水系外流域治水協議会

1級水系流域治水プロジェクト及び減災対策における取組方針に基づく 各種対策のフォローアップについて

※ 各構成員にて今年度実施いただいた取組み内容及び次年度以降の取組み内容の御報告と各種対策の代表事例をご紹介します。

・ 豊平川外地域部会	P.1-36
・ 千歳川外地域部会	P.37-76
・ 夕張川上流地域部会	P.77-101
・ 幾春別川外地域部会	P.102-148
・ 雨竜川外地域部会	P.149-195
・ 空知川地域部会	P.196-243

令和 8年 3月26日

豊平川外地域部会

- 札幌開発建設部
- 札幌市、石狩市、当別町
- 札幌管区気象台
- 石狩森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 石狩振興局
- 空知総合振興局

札幌開発建設部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：
札幌河川事務所

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	洪水氾濫から流域を守る治水対策、土砂災害から地域を守る土砂災害防止対策	

令和7年度 取組内容

R7年度においては、過年度から継続的に実施していた豊平川・厚別川の河道掘削、簾舞川の御料堰堤改良を継続実施し「流域治水」の推進を図った。

豊平川雁来築堤掘削



厚別川河道掘削



簾舞川御料堰堤改良



引き続きR7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：
札幌河川事務所

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
対策内容	重要水防箇所合同巡視（札幌市・石狩市・当別町）の実施	

令和7年度 取組内容

有事における水防活動を円滑に実施するため、札幌河川事務所と各自治体の出水担当部署職員が、認識の共有を図りつつ、重点的に巡視・点検が必要な箇所の合同巡視を実施した。

札幌市



石狩市



当別町



引き続きR7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：
札幌河川事務所

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	川の安全利用学習会の実施	

令和7年度 取組内容

豊平川・創成川において、管内の児童(小学4年生)を対象に「川の安全利用学習会」を実施し、川の危険箇所の確認のほか、川の歴史や水質、水辺の生物調査に関する体験を通じて、身近な川に対する理解と知識を深めることに寄与した。

豊平川左岸 幌平橋付近



創成川 北二番橋付近



引き続きR7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：
札幌河川事務所

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	地域防災力向上の連携強化の取り組み	

令和7年度 取組内容

大規模土砂災害の発生に備え、関係機関間における行動表や情報共有方法等について意見交換を行い、連携体制の強化を図った。また、札幌市総合防災訓練会場にて砂防事業の重要性や土砂災害の危険性に対する理解促進を目的として、パネル展示及び職員による説明を実施した。

大規模土砂災害連携会議



札幌市総合防災訓練（パネル展示ブース）



引き続きR7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：札建農業
(豊平川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を發揮し、「流域治水」の推進を図った。

実施前

青山ダム



【貯水位運用前】
6月上旬の状況

実施後

青山ダム



【貯水位運用】
8月1日から8月31日 EL=141.39m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。

札幌市、石狩市、当別町

実施主体：札幌市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川や流域貯留施設等の整備
対策内容	河川・流域貯留施設等の整備	

■令和7年度 取組内容

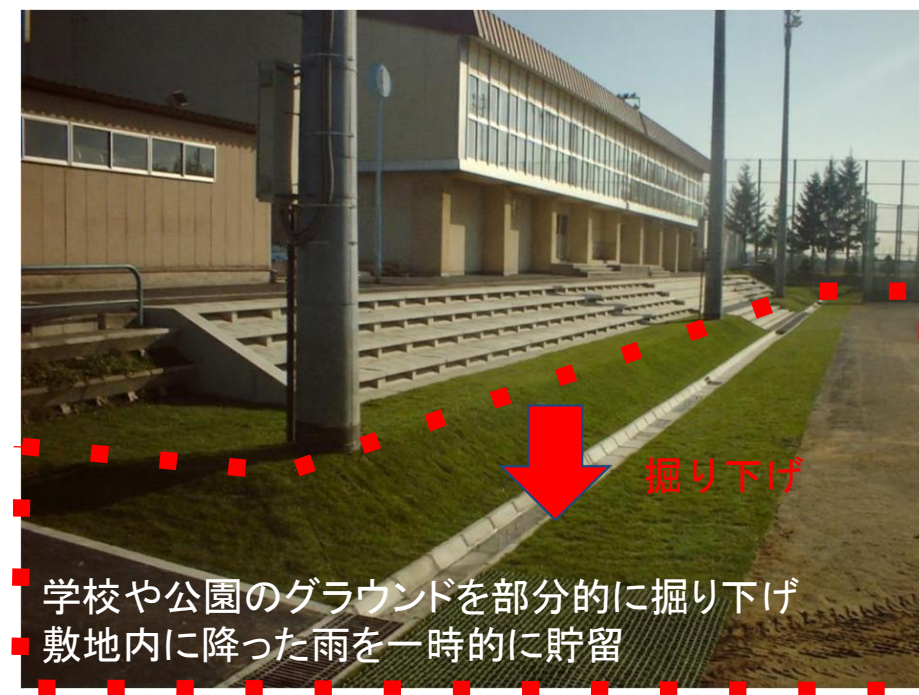
- ・R7年度においては、厚別西川など5河川の整備や伏籠川流域内4箇所の流域貯留施設の整備を実施。

実施前

《流域貯留施設》※平岸高台小学校の事例



実施後



学校や公園のグラウンドを部分的に掘り下げ
敷地内に降った雨を一時的に貯留

次年度に向けた予定 など

- ・引き続き、河川改修や流域貯留施設の整備などを実施する。

実施主体：札幌市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発
対策内容	小中学校への防災教育用教材の配布	

■令和7年度 取組内容

・児童生徒の防災意識を啓発し、災害に直面したときに適切に行動する能力を身に付けさせることを目的に電子版の教育教材を作成。市内小中学校教員向け特設サイトにて公開。

実施内容

・発達段階に応じて、小学校1～3年、4～6年、中学生の3種類作成を作成。関連する科目や学級活動など、授業の目的や時間に応じてパワーポイントの教材を教員が自由にカスタマイズして活用することができるものとしている。
※教職員用の指導の手引きも併せて作成。

・社会科副読本「わたしたちの札幌」のうち、防災に係る項目の編集を支援。



次年度の予定

・教育現場で活用してもらえるよう引き続き周知する。

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	住民の水防意識啓発のため、S56洪水等の広報の充実
対策内容	出前講座等による普及啓発	

実施主体：札幌市

■令和7年度 取組内容

- ・防災普及啓発として、防災DVDの貸出や出前講座の実施

実施内容

- ・札幌市広報誌やコミュニティFMラジオ、SNS、出前講座等を通じて、避難行動の理解促進に努めた。

次年度の予定

- ・引き続き各種広報やSNS等を通じて幅広い世代に向けた情報発信を行う。

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発
対策内容	住民参加による防災訓練の実施	

実施主体：札幌市

- 令和7年度 取組内容
 ・地域住民が参加し、避難所の開設・運営訓練を実施

実施内容



- 次年度の予定
 ・引き続き住民参加型の防災訓練の実施

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施
対策内容	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成に向けた支援	

実施主体：札幌市

■令和7年度 取組内容

・要配慮者利用施設（高齢者関連施設、障害者関連施設、児童関連施設、学校関連施設、医療関連施設）における避難確保計画の作成支援会を継続して実施。

実施内容

要配慮者利用施設の計画の作成状況（R7.12月時点）

ア) 対象施設数 2,945箇所

（うち 学校関連施設 203箇所）

イ) 計画作成済みである対象施設数 1,930箇所

（うち 学校関連施設 182箇所）

札幌市内の対象施設における作成率は66%となっており、令和7年度は作成支援会等を通じて200箇所以上の施設が避難確保計画を作成。



次年度の予定

・要配慮者利用施設の新規開設、移転等の情報抽出及び、引き続き各対象施設への計画作成に係る支援会を実施し 計画の作成を促していく。

【石狩市】流域治水プロジェクト2.0に基づく対策の概要について

実施主体：石狩市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	
対策内容	市管理河川等の浚渫及び雑木伐採等による維持管理、雨水管の整備、流出抑制施設の機能維持（開発事業に伴う雨水貯留地の機能維持）	

■令和7年度 取組内容

- 令和7年度においては、古潭川の浚渫及び雑木伐採等による維持管理、雨水管の整備、流出抑制施設の機能維持を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



市管理河川の浚渫

■次年度に向けた予定

- 市管理河川等の浚渫や雑木伐採等の維持管理及び雨水管の整備により、氾濫を防ぐ・減らす対策を実施

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
対策内容	災害・防災情報の新たな情報発信手段の整備	

実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

- 令和7年3月より石狩市行政情報ポータル「いしぽ」および石狩市緊急情報電話配信サービスの運用開始、新たな災害情報の伝達手段を構築。



警報等の災害情報を自動プッシュ通知

洪水キキクルや川の防災情報へ簡単アクセス

石狩市緊急情報 電話配信サービス

石狩市緊急情報電話配信サービスとは？

災害発生時に石狩市が発信する緊急情報等を自宅の固定電話やFAXで受け取ることができるサービスです。携帯電話やスマートフォンなどをお持ちでない方は、ぜひご利用ください。

※スマートフォンをお持ちの方は
石狩市行政情報ポータル「いしぽ」をご利用ください。
(詳しくは「広報いしぽ」4月号P.6をご覧ください。)

アプリのダウンロードはこちら

Androidから

iPhoneから

迅速・正確な情報を提供する

対象者
原則として、石狩市内在住でスマートフォンやタブレットをお持ちでない方

発信内容
国が発信する国民保護情報のほか、気象情報の発表、避難情報や避難所開設に関する情報、災害時における緊急情報など
(電話を受けると、自動音声で情報が流れます。)

費用
登録料や通送料はかからず、無料でご利用いただけます。

<お問合せ>
〒061-3292
石狩市石狩区お茶1丁目30番地2
石狩市総務部危機管理課
電話：0133-72-3190 FAX：0133-75-2275
Mail：kiki@city.shikari.hokkaido.jp

登録方法については裏面へ→

スマホを持っていない方へは、固定電話、FAXで災害情報を通知

- 市民の迅速な避難行動を促すため、利用者視点に立った理解しやすい災害・防災情報の提供及びサービスの向上に取り組む。
- 今後もイベントや防災訓練、講習会で周知を継続し、理解促進に努める。

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	ハザードマップの周知・活用	

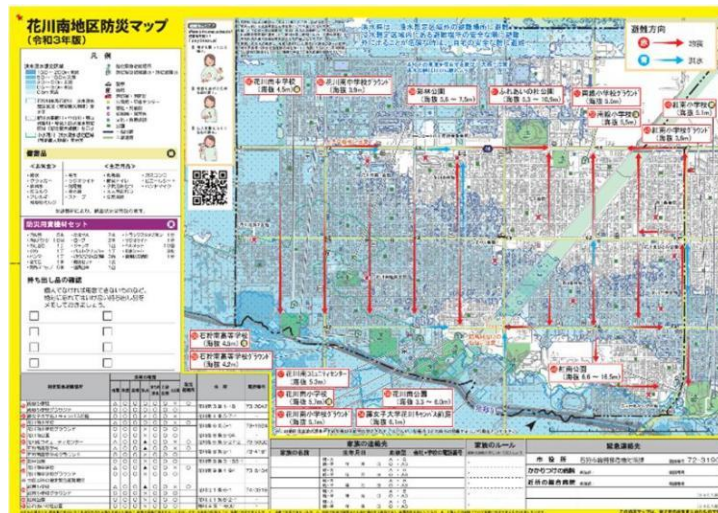
実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

- 平成30年5月、令和4年3月に石狩市地区防災ガイドおよび防災マップ（ハザードマップ）の改定を実施。新規転入者、各種訓練、講習会で配布を実施。



石狩市地区防災ガイド



花川南地区防災マップ
(ハザードマップ)



花川南小・中学校 一日防災学校の様子
⇒防災ガイド・マップを活用した授業を実施

- 令和4年6月公表の石狩川水系材木川の洪水浸水想定区域および避難所の新たな指定を反映し、令和7年度内での改定作業を実施。
- 今後も新規転入者、各種訓練、講習会で配布を実施。

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災教育・訓練の実施、防災意識の啓発	

実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

- ・【防災教育】令和7年10,11月に一日防災学校を実施。
⇒児童生徒の災害時の「生きる力」を育む取組として学校が主体となり、防災まちづくり協会、防災マスターなどの協力のもと、平成30年度から毎年実施。
⇒市内小中学校、小1～中3まで延べ約1,200名の児童生徒が参加。
- ・【防災訓練】令和7年12月に避難所運営訓練を実施。
⇒町内会・自治会の役員を含めた市民に対して、避難所運営や備蓄資機材の説明、中小河川における浸水想定区域の周知を実施。



花川南小・中学校 一日防災学校の様子
⇒中学校1年生を対象とした水害タイムラインの実施
⇒段ボールベッドの組立を指導する防災マスター

避難所運営訓練の様子
⇒備蓄資機材の説明、座学形式での説明

- ・ 防災教育・訓練の充実を図るため、防災DXや映像教材を活用した実践的・視覚的な体験を通じて知識の定着を図る。
- ・ 次年度も、一日防災学校および避難所運営訓練の実施を予定。

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災教育・訓練の実施、防災意識の啓発	

実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

【防災意識の啓発】(防災イベントの開催)

- ・ 石狩市防災パネル展の開催
⇒石狩市役所本庁舎（1F）で豪雨災害をテーマに令和7年9月9日～9月12日まで実施。
⇒当時の記憶や教訓、被害の甚大さを忘れず、大災害に備えるため、市民への防災意識の啓発を図る。
- ・ 石狩防災フェスタ2025の開催（5回目の開催）
⇒令和7年8月3日（日）石狩市役所本庁舎敷地内で昨年に引き続きの実施
⇒来場者数約3,500人の防災イベント。防災まちづくり協会、防災マスター、関係機関などの協力のもとイベントを通じ市民へ防災意識の向上・啓発活動を展開。



石狩市防災パネル展の様子
⇒被害写真の掲載や防災備蓄品を展示



石狩防災フェスタの様子
⇒防災DXを活用したAR浸水体験の実施
⇒開発局の協力による降雨体験装置



- ・ 令和8年3月に市民図書館エントランスで地震、津波、風水害等の様々な自然災害をテーマに防災パネル展第2回を開催予定。
- ・ 令和8年度では、訓練の更なる充実及び関係機関の参加拡大を図り、開催予定。

【石狩市】減災対策における取組状況等について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	要配慮者利用施設の自衛水防の推進に関する取組	

実施主体：石狩市

■令和7年度 取組内容

- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成
 - ⇒各種社会福祉施設や保育・医療施設、学校などの防災上の配慮を要する方が利用する施設で、市では84施設を対象として、施設ごとの避難確保計画を順次策定。
 - ⇒今年度、新規対象となった施設に対して作成の依頼を通知及び個別の説明や作成のフォローを石狩市防災まちづくりの協力のもと実施。
 - ⇒令和7年9月末で、84施設について計画策定完了。（進捗率 100%）

- ・ 今後も新規対象施設に対して個別の説明や作成のフォローを継続。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	小学4年生・中学1年生を対象とした防災教育を実施	

実施主体：当別町

令和7年度 取組内容

- ・ 能登半島地震による町職員派遣時の状況を説明
- ・ 当別町防災マップを使用し、自宅及び周辺の災害リスクを確認
- ・ 避難所の指定箇所と場所の確認

実施内容



避難所設営訓練（段ボールベッド作成）

次年度も実施予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	町民・町職員を対象とした防災教育を実施	

実施主体：当別町

令和7年度 取組内容

- ・ 講師を招き、講演及びワークショップを実施
- ・ 当別町防災マップを使用方法的再確認
- ・ 災害が起きたときの、初期行動の確認

実施内容



次年度も実施予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	町民を対象とした体験型避難所体験	

実施主体：当別町

令和7年度 取組内容

- 北海道医療大学と連携を行い、同大学講師による「災害時の常備薬・口腔ケア等」について講習を実施
- 避難所体験：非常食の試食・段ボールベッド作成・災害救援車（動く薬局）の見学

実施内容



避難所設営訓練（段ボールベッド作成）

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

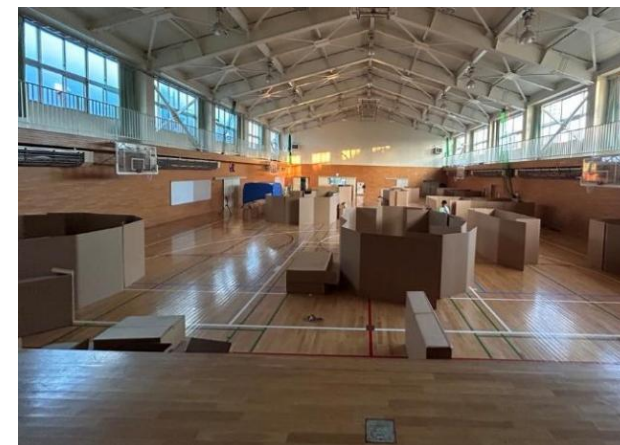
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	小学1年生から中学3年生とその親子が対象	

実施主体：当別町

令和7年度 取組内容

- ・ 小学校の体育館を避難所と想定し、1泊2日の避難所体験
- ・ 放水体験・火起こし・高齢者クラブへの訪問・炊き出し訓練等を実施

実施内容



避難所設営訓練（段ボールベッド作成）

次年度も実施予定

札幌管区气象台

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区气象台
(豊平川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をとした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・石狩振興局及び関係する全3市町（石狩市・当別町・札幌市）と、個別の懇談を実施した。
- ・札幌市が実施した災害対策本部設置訓練におけるシナリオの作成に協力した。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・電話による自治体等からの問合せに対して、のべ144回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務ヘフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

石狩森林管理署

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	森林整備事業(間伐、植栽等)の実施	

実施主体：
北海道森林管理局
石狩森林管理署
(豊平川地域部会)

■令和7年度 取組内容

- 林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- 令和7年度においても、森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能等の適切な発揮に向けた森林整備(間伐、植栽等)を実施した。



植栽の実施状況



間伐の実施状況

森林整備状況(石狩森林管理署)

次年度に向けた予定 など
・治山施設等の点検・整備
・植栽・間伐等の森林整備

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

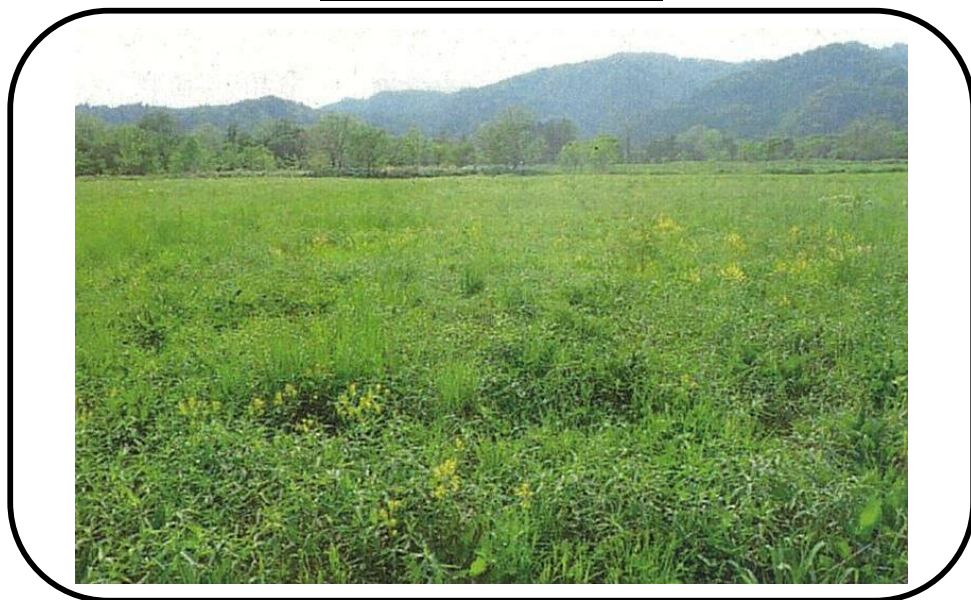
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	

実施主体：
森林整備センター
(豊平川外地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・流域治水に資する下刈等の森林整備を実施。

植栽実施前



植栽実施後



次年度以降も下刈等の森林整備を計画的に実施

石狩振興局 産業振興部
・整備課

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業農村整備事業の実施、水田の貯留機能向上	

実施主体：
石狩振興局整備課
(豊平川外部会)

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを石狩市と当別町で実施

・ 農業水利施設の活用

農業用排水路の施工




水田貯留機能向上

水田の大区画化



整地



畦畔築立



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

石狩振興局 産業振興部
・林務課

空知総合振興局
・森林室

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：
石狩振興局林務課
(豊平川外地域部会)

令和7年度 取組内容

- 札幌市、石狩市、当別町において、治山事業及び森林整備事業により間伐、植栽等を実施したことで、山地保水力強化による「流域治水」の推進を図った。

実施前



高齢林となることで防災機能が低下し、土砂災害や倒木のリスクが増加

実施後



伐採・植栽を行うことで、段階的に諸災害に強い針広混交複層林に誘導する

次年度に向けた予定

- 森林の荒廃状況等による優先度に基づき、治山事業を着実に推進するほか、森林整備事業を計画的に実施する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知総合振興局森林室
(豊平川外地域部会)

■令和7年度 取組内容
・空知団地育林事業を当別町にて実施



溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

次年度に向けた予定 など
・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

空知総合振興局
札幌建設管理部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

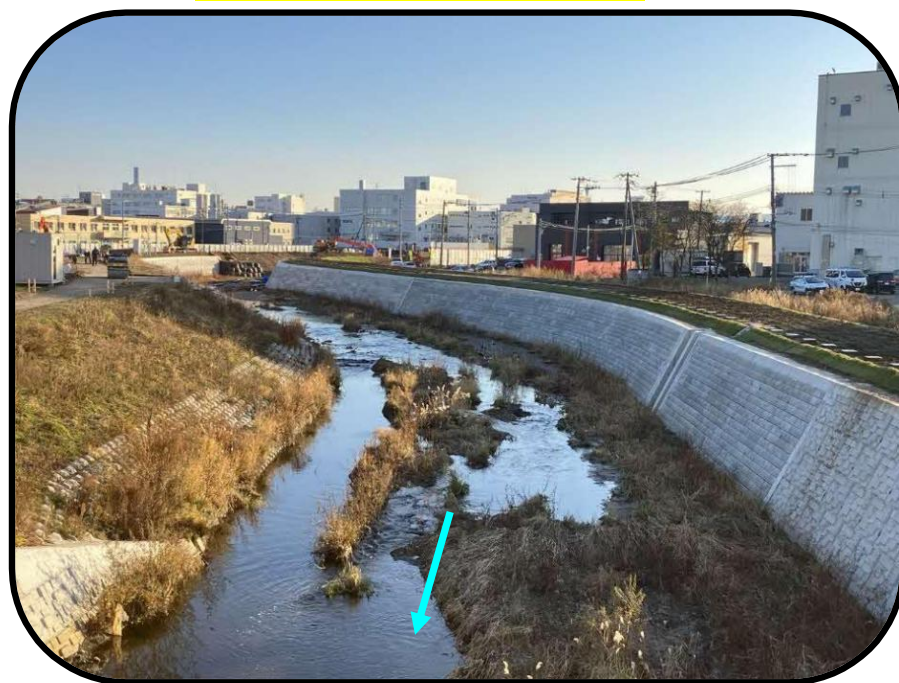
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(豊平川外地域部
会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた月寒川、望月寒川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

月寒川(実施後)



望月寒川(実施後)



次年度に向けた予定 など

次年度以降も引き続き、継続実施している月寒川等の河道掘削、砂防関係施設の調査設計等を実施する。

千歳川外地域部会

- 江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、南幌町、長沼町
- 札幌管区気象台
- 石狩森林管理署
- 空知森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 石狩振興局
- 空知総合振興局
- 札幌開発建設部

江別市、千歳市、恵庭市、北広島市
南幌町、長沼町

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：江別市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河道掘削及び河道内伐木を実施	

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続している河道掘削及び河道内伐木を実施した。また、損傷した護岸の改修を実施した。

■河川床ざらい状況(10~2月)



■雑木伐採(世田豊平川)



■護岸改修(元野幌川)



次年度以降についても、引き続き河川・農業用排水路の『河道掘削及び河道内伐木』等を実施し、氾濫を未然に防ぐ取組を推進する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：江別市

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続している『防災図上訓練』、『防災あんしんマップの更新・配布』、『地域連携避難所運営訓練』、『出前講座による防災教育、防災啓発活動』など

見学会(10月25日)

水害の歴史と治水事業、排水
機場見学
小学生及び保護者対象



自主防災研修会

第1回5月24日 95人参加
第2回1月31日実施予定



地域連携避難所運営訓練

第1回7月12日 82人参加
第2回12月13日88人参加



次年度以降についても、引き続き『防災訓練』、『防災あんしんマップ配布』、『出前講座による防災啓発活動』などの実施を予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	・農業用排水路の床ざらい、草刈り、普通河川等の浚渫等	・防災訓練、防災教育の実施訓練展示等による啓発等

実施主体：千歳市

令和7年度 取組内容

令和7年度においては、農業地域の内水氾濫を抑制する農業用施設などの維持補修、雨水管の機能を増強する下水道工事、普通河川・調整池の維持管理、住宅建築等における浸透柵の設置指導、調整池の草刈を継続して実施したほか、田んぼダムに関する取組や千歳市危機管理課による防災教育を実施した。

◎農業地域の内水氾濫を抑制する農業用施設



【農業用排水路】

・農業用排水路の床ざらい、草刈りの実施



【排水機場】

・排水機場の維持補修の実施

◎普通河川等の浚渫、草刈



【幌加川】

・普通河川等の浚渫

◎雨水管の増設



【雨水管敷設状況】

・雨水管敷設工事の実施

◎住宅建築等における浸透柵の設置指導



【設置状況】

・浸透柵の設置

◎調整池の草刈



【調整池】

・草刈

◎田んぼダムに関する取組



【取組状況】

・柵を設置し排水量を調整

◎防災教育の実施



【実施状況】

・千歳市総務部危機管理課による、災害全般に関する防災教育の実施

次年度以降の取組(予定)：令和8年度においても、これらの対策について継続して実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体: 恵庭市

	概ね5年で実施する取組について
対策区分	情報伝達、避難計画等に関する事項
対策内容	・ 防災訓練、緊急防災ラジオによる啓発等

令和7年度 取組内容

- ・ 災害対策本部訓練において、GISを活用した被災状況や避難行動要支援者情報の共有トレーニングを行った。
- ・ 防災行政無線を補完する情報伝達ツールの一つとして、災害時等の緊急情報が流れた際に自動起動する『緊急防災ラジオ』を販売し、市民が災害時に情報を入手しやすい環境づくりを行った。

実施内容



災害による通行止めなどの状況付与を行い、GISへの被災状況データ入力と共有、対応方法の検討(ブレインストーミング)を行った。

実施内容



防災無線から流れる災害時等の緊急放送を自動起動して流す緊急防災ラジオを販売。
※1/2を市で助成して販売。

次年度に向けた予定など
浸水時の避難所開設・運営に関するDX技術の活用検討

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	湛水被害の軽減に貢献する食料安定生産のための農業施設整備等

令和7年度 取組内容

- ・東恵庭・松鶴・島松・北栄の4地区（442ha）の田んぼダムの実施。
- ・農業用排水路（L=1,300m）の床ざらいの実施。

実施内容

田んぼダム



平成20年度より毎年、東恵庭・松鶴・島松・北栄の4地区で継続的に田んぼダムを実施している。

実施内容

排水路の床ざらい



大雨時に排水路が溢れないように、年計画的に排水路の床ざらいを実施している。

次年度に向けた予定 等
田んぼダムの継続的な実施。
農業用排水路の適正な管理。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2. 0
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
対策内容	浸水被害の軽減を図り市街地を守る下水道雨水管等の整備

令和7年度 取組内容

恵庭市公共下水道等雨水流出抑制に関する指導の対象となる事案に対し、浸透管等を設置し、雨水の河川への流出を抑える。

実施内容



一般住宅以外で土地面積500㎡以上かつ当該土地の半分以上が屋根又は舗装等に覆われる土地を対象として流出抑制を実施している。

実施内容



次年度に向けた予定 など
雨水流出抑制の継続

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：恵庭市

	流域治水プロジェクト2.0
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
対策内容	自治体首長が参加する水防災訓練を実施し、その実施結果を踏まえた流域タイムライン等の見直し・修正

■令和7年度 取組内容

- ・災害対策本部訓練において、GISを活用した被災状況や避難行動要支援者情報の共有トレーニングを行った。

実施内容



各対策班長のほか、自衛隊や警察等の関係機関も参加しての災害対策本部訓練を実施。
災害による通行止めなどの状況付与を行い、GISへの被災状況データ入力と共有、対応方法の検討(ブレインストーミング)を行った。

次年度に向けた予定など
災害対策本部訓練の継続と訓練内容のブラッシュアップ。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	市街地開発により設置された調整池の機能を保持する対策	

実施主体：北広島市

令和7年度 取組内容

- 市街地開発のため設置された北広島市美咲き野地区の調整池の流末(雨水排水施設)の床浚い等を実施し、「流域治水」の推進を図った。(下水道施設)

床浚い

実施前

作業中

実施後



【今後の取り組み】

- 開発行為等に伴う雨水流出抑制対策の指導
- 雨水管の整備(稲穂町、新富町西、大曲並木、大曲工業団地)
- 田んぼダムに関する取り組みについて
- 河道の掘削
- 排水機場の維持補修
- 農業用排水路の床浚い、草刈り

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：北広島市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	大雨災害から流域を守る治水対策	

令和7年度 取組内容

- 1級河川仁井別川の支川、ヤマベ川の河道掘削を実施し氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策を行い「流域治水」の推進を図った。（普通河川）

河道掘削

実施前



作業中



実施後



【今後の取り組み】

- 開発行為等に伴う雨水流出抑制対策の指導
- 雨水管の整備（稲穂町、新富町西、大曲並木、大曲工業団地）
- 田んぼダムに関する取り組みについて
- 河道の掘削
- 排水機場の維持補修
- 農業用排水路の床ざらい、草刈り

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市内在住の防災士・北海道地域防災マスターとの連携強化	

実施主体：北広島市

■令和7年度 取組内容

- 市内在住の防災士・北海道地域防災マスターに対し、各種訓練へ参加の呼び掛けを行った。市の防災行政について理解を深める機会を設け、地域防災を担うリーダーとの連携強化を図った。

実施内容



水防訓練へ参加した防災士・防災マスター
訓練概要を説明している様子

実施内容



市の新人職員が行う防災資機材取り扱い訓練
を防災士等が見学している様子

【今後の取り組み】

防災士・北海道地域防災マスターを対象とした講習会を3月15日に開催（日本防災士機構と共同で開催）、次年度以降も防災士等との連携強化を図り、自主防災組織や地域住民の防災意識の向上に繋げる。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水防訓練における水防工法の効果確認	

実施主体：北広島市

令和7年度 取組内容

- 例年に引き続き自衛隊、警察機関、市建設業協会と連携を図りつつ、堤防の裏側に漏水した水が噴き出していることを想定し、消防車両から注水を行い、月の輪工における効果確認を実施、イメージアップを図った。

月の輪工の効果確認



消防車両から月の輪工に注水し、効果を確認

積土のう工作成状況



その他にもシート張り工も作成
訓練参加者111名・見学者40名

【今後の取り組み】

基本的な水防工法の習得及び水防技術の維持・向上を図ることを継続しつつ、訓練がマンネリ化しないように、イメージアップに繋がる訓練内容を計画する。また、防災士等への見学案内も引き続き継続し、防災行政への理解を深めていただく。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について	実施主体：北広島市
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	
対策内容	防災拠点（北広島市防災食育センター）運営訓練及び各種災害時協定の締結		

令和7年度 取組内容

- 北広島市防災食育センター稼働2年目を迎え、昨年度実施した各種機能検証訓練の成果を踏まえ、実際の防災拠点としての運営要領を訓練・検証し、大規模災害対応能力の向上を図った。
- 災害時協定は、キャンプ場における車中泊避難及びペット同行避難の内容など6件の締結を行った。

防災拠点運営訓練



災害時協定の締結



【今後の取り組み】

防災食育センターでは、物資輸送などの拠点機能や応急給食機能をはじめとした各種機能を十分に発揮できるように自衛隊など関係機関と協同を図り、継続的な訓練の実施を検討する。また、訓練で作成した応急給食を市内小中学校の防災給食として提供し、防災月間における防災意識の高揚に繋げる。

災害時協定については、今後も災害時等に有効である内容を精査し、企業との積極的な締結を推進する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	河川災害から流域を守る治水対策	

実施主体：南幌町

令和7年度 取組内容

- ・R7年度においては、期成会会員に千歳川流域の治水対策と現在の整備状況を広く周知するため、令和7年度南幌町千歳川治水対策促進期成会の総会に併せて河川整備状況報告会を開催し治水対策の推進を図った。
- ・継続して南幌町千歳川治水対策促進期成会で「期成会だより」を発行し町民へ広く周知した。



【住民からのコメント住民参加方法について】

南幌町千歳川治水対策促進期成会 会長 山本康男氏

- ・頻発化する降雨災害を未然防止するためには治水事業に関する情報を広く住民に周知する必要がある。
- ・継続的に地域住民に対して情報発信を行い、減災・防災に努める。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：南幌町

■令和7年度 取組内容

・ハザードマップを更新し住民に周知した。全町民を対象とした防災訓練を開催し約260人に参加していただいた。希望された町内会・自治会で洪水や自然災害を想定した地域防災訓練・防災教育を実施した。



【防災訓練】

・避難所設置訓練 ・避難所運営訓練(DOはぐ) ・炊き出し訓練 等

【出前講座】

・防災講座(災害とは、災害の対策、防災備蓄品、みんなの避難場所、自主防災組織)
・避難所設置体験(間仕切りテント、ダンボールベット) ・非常食試食体験(アルファ米、カレー)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：長沼町

令和7年度 取組内容

関係機関による総合防災訓練を開催。水防団による水防訓練（土嚢作りやシート張り工法等）、自衛隊や赤十字奉仕団による共同炊出訓練、町民参加による避難所開設訓練、役場職員による情報収集伝達訓練などを実施。



水防団、自衛隊など連携した訓練



炊事車による炊出

水流体験



頻発する災害に備え、今後も関連機関との連携強化を図るとともに、地域防災力及び防災意識の向上に努める。災害から自身や家族、近隣町民の生命・財産を守るために、自助・共助に対する意識を引き続き深めていく。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：長沼町

令和7年度 取組内容

出前講座や1日防災学校を開催。町内行政区や団体、学校等に出向き、防災意識の高揚を図った。



長沼高校での講話・避難所開設体験



段ボールベッドの組み立て体験
長沼小学校

引き続き、町民の防災意識高揚に繋がる機会を増やしていく。また、水害等の被災経験が無い年齢層に対しても、いつ身の回りで起きてても不思議ではない“自分事”として捉えてもらうべく、町の治水の歴史や排水機場の見学を盛り込む等、講話内容の充実を図りたい。

札幌管区气象台

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区气象台
(千歳川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をととした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・石狩振興局、空知総合振興局及び関係する全6市町（江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・南幌町・長沼町）と、個別の懇談を実施した。
- ・空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施した。
- ・千歳市・恵庭市・南幌町が実施した防災訓練において、訓練資料の作成・防災展示等の協力を行った。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・電話による自治体等からの問合せに対して、のべ132回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

石狩森林管理署
空知森林管理署

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林整備事業(間伐、植栽等)を実施	

実施主体：
北海道森林管理局
石狩森林管理署
(千歳川地域部会)

■令和7年度 取組内容

- 林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。
- 令和7年度においても、森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能等の適切な発揮に向けた森林整備(間伐、植栽等)を実施した。



植栽の実施状況



間伐の実施状況

森林整備状況(石狩森林管理署)

次年度に向けた予定 など

- ・治山施設等の点検・整備
- ・植栽・間伐等の森林整備

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	植付・下刈による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(千歳川部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

下刈実施前



下刈実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	植付・下刈による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(千歳川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

植付実施前



植付実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・南部耕地出張所

石狩振興局 産業振興課

- ・整備課

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

農業用水利施設(排水路)の整備



田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業農村整備事業の実施、水田の貯留機能向上	

実施主体：
石狩振興局整備課
(千歳川外部会)

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを江別市で実施



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

空知総合振興局 産業振興部

- ・林務課
- ・森林室

石狩振興局 産業振興課

- ・林務課

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2. 0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：北海道空知
総合振興局産業振興部
林務課

(千歳川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 長沼町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

森林整備事業(植栽)【長沼町】



森林整備事業(下刈)【長沼町】



■次年度以降の取り組み(予定)

- ・ 要望のあった市町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知総合振興局森林室
(千歳川外地域部会)

■令和7年度 取組内容
・空知団地育林事業を江別市にて実施



溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

次年度に向けた予定 など
・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：
石狩振興局林務課

(千歳川外地域部会)

令和7年度 取組内容

- 江別市、千歳市、北広島市において、治山事業及び森林整備事業により間伐、植栽等を実施したことで、山地保水力強化による「流域治水」の推進を図った。

実施前



シラカバ林が虫害により枯損・消滅したことで
山地保水力が低下

実施後



虫害に強い樹種の植栽により
森林の多面的機能の高度発揮を目指す

次年度に向けた予定

- 森林の荒廃状況等による優先度に基づき、治山事業を着実に推進するほか、森林整備事業を計画的に実施する。

空知総合振興局
札幌建設管理部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(千歳川外地域部
会)

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた南九号川、島松川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

南九号川(実施後)



島松川(実施後)



次年度に向けた予定 など

- ・ 次年度以降も引き続き、継続実施している南九号川等の河道掘削、砂防関係施設の調査設計等を実施する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	土砂災害・全国防災訓練等への参加、広報活動を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(千歳川外地域部
会)

令和7年度 取組内容

- 千歳市総合防災訓練へ参加し、土砂災害等の啓発活動を通じて防災意識向上の推進を図った。

実施内容



実施内容



次年度に向けた予定 など

- 次年度以降も引き続き、広報活動を通じて防災意識の向上に務める。

札幌開発建設部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	水災害から流域を守る治水対策	

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、千歳川流域の河川堤防整備・樋門改築、河道及び排水路掘削を実施し「減災対策」「流治水」の推進を図った。

音江別川(堤防整備)



中央長都樋門(改築工事)



次年度に向けた予定
引き続き令和7年度の取組を継続実施。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水被害リスク情報の共有・検討
対策内容	関係自治体との水被害リスク情報の共有・検討	

■令和7年度 取組内容

- ・ 江別河川事務所・千歳川河川事務所では、千歳川の重要水防箇所の手合同巡視を関係自治体と毎年実施しており、首長はじめ関係者が危険箇所等の把握と、出水時の体制・河川情報ツールの確認等を行っている。
- ・ 今年度は重要水防箇所のうち、実際に工事が行われている場所にて巡視を行い、整備の進捗状況を確認しながら、リスク情報・知見の共有を図った。



千歳市



恵庭市



南幌町



長沼町



北広島市



江別市

次年度に向けた予定 引き続き令和7年度の取組を継続実施。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災意識の構築に向けた啓発活動	

令和7年度 取組内容

- 千歳川河川事務所では、関係自治体の総合防災訓練に参加し、流域治水の取組をパネル展示によりPRしたほか、千歳川の洪水の歴史や事業概要のパネル、災害対策用機械等の展示を行い防災意識の啓発を図った。

展示パネルによる流域治水の取組説明



R7.9.7 千歳市総合防災訓練



R7.10.6 長沼町総合防災訓練

災害対策用機械等の展示



R7.8.31 南幌町総合防災訓練
土のう造成機



R7.10.6 長沼町総合防災訓練
待機支援車

災害体験装置の展示



千歳市総合防災訓練 降雨体験装置



R7.9.10 北広島市地域防災訓練
地下浸水体験装置



次年度に向けた予定
引き続き令和7年度の取組を継続実施。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災意識の構築に向けた啓発活動	

令和7年度 取組内容

- 千歳川河川事務所では、河川協力団体の親子で参加する防災イベントに、マイタイムラインの講師として参加し、いざという時の備えのためマイタイムラインの作成を行った。



千歳川河川事務所職員の説明を聞きながら、親子でマイタイムラインを作成している様子



教材には、国土交通省水管理・国土保全局で公表している逃げキッドと長沼町防災マップを使用

次年度に向けた予定
依頼があれば実施。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2. 0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用排水施設等の活用	

実施主体：札建農業
(千歳川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、国営かんがい排水事業による農業用排水路の整備を実施し、排水流下能力の向上を図ることにより、「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



次年度に向けて引き続き、農業用排水路の整備を行い、排水能力の向上を図る。

夕張川上流地域部会

- ・夕張市、由仁町、栗山町
- ・札幌管区气象台
- ・空知森林管理署
- ・北海道水源林整備事務所
- ・空知総合振興局
- ・胆振総合振興局
- ・札幌開発建設部

夕張市、由仁町、栗山町

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水防訓練及び住民避難	

実施主体：夕張市

■令和7年度 取組内容

- ・ 水防訓練及び住民避難訓練～地震と台風による大雨の影響で河川の増水と土砂災害発生危険があるという想定で市・消防本部(署)・消防団・警察と連携し災害対応能力向上を図った。



次年度においても実施予定地区に対して住民避難訓練及び水防訓練を行い、災害対応能力向上を図る。

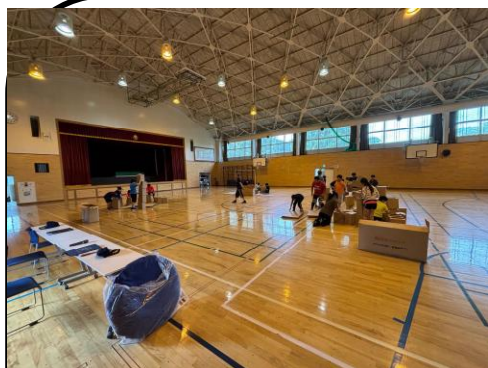
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：夕張市

■令和7年度 取組内容

- ・ 小学校(学年別防災教室)、中学校(防災備蓄品の学習、HUGについての理解及び体験)、高校(HUGの体験)を実施。
- ・ 毎年継続して各町内会(20組織)に対し、防災講話と発電機等の取扱い説明を行い、地域住民の防災知識の向上、地域防災力向上に努めている。



次年度以降も防災教室及び防災講話や発電機の取扱い等を継続し防災意識の向上を図っていく。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
対策内容	関係自治体との水被害リスク情報の共有・検討	

実施主体：由仁町

■令和7年度 取組内容

- ・ 災害対策本部設置訓練を実施し、災害対処要領の検討など、警察、消防、自衛隊等各関係機関との連携の強化を図ることができた。
- ・ また、職員を対象に避難所開設・運営訓練を実施し、災害発生時における円滑な避難所開設・運営に資することができた。



由仁町災害対策本部員会議実施状況



避難所を開設する町職員

次年度は、訓練実施課目を精選するとともに、実際的な訓練となるよう各関係機関と密接に調整し、防災総合訓練を計画（予定）する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	由仁中学校防災教室を実施	

実施主体：由仁町

■令和7年度 取組内容

・全校生徒を対象に、防災講話、応急担架の作成、パーテーション及び段ボールベット作成等について、栗山警察署(員)と町職員による防災教育を実施して、防災に関する意識の高揚を図ることができた。



防災教室を実施する栗山警察署員及び町職員

未来を担う子どもたちは、将来起こりうる自然災害に対しての正しい知識を持ち、自ら考えて判断し、危険から身を守る行動をとる必要があります。

次年度以降も小・中学生を対象とした防災教室を継続して実施していきたい。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：栗山町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	河川氾濫時の避難行動の確認	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	避難経路や避難場所の選定、避難時の注意点を確認、効果的な避難行動を習得。	

令和7年度 取組内容

令和7年度においては、北海道主催の「北海道地域防災マスター認定研修」を開催し、札幌管区気象台ご指導の下、町内の川が氾濫した想定での避難行動に関するワークショップを実施。

◆班ごとに居住地・家族構成等を設定し、「これから大雨になる」という情報を受けて、どのようなタイムスケジュールで避難すべきか話し合うワークショップを実施



◆ワークショップ後半に発表を行い、他班の避難行動の違いや参考になる点を学び、適切な避難行動の確認を行った。



次年度に向けた予定 など

◆河川の洪水を想定した防災訓練、防災教育の実施

札幌管区气象台

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区气象台
(夕張川上流地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をとした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・ 空知総合振興局及び関係する全3市町（夕張市・由仁町・栗山町）と、個別の懇談を実施した。
 - ・ 空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施した。
 - ・ 北海道が主催し栗山町で開催する北海道地域防災マスター研修会において、気象庁ワークショップを実施した。
 - ・ 气象台訓練において、市町長と气象台幹部のホットライン訓練を実施した（夕張市・栗山町）。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・ 大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・ 電話による自治体等からの問合せに対して、のべ13回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・ 講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・ 地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・ 市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・ 関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・ 令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・ これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・ これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・ 事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

空知森林管理署

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知
森林管理署
(夕張川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、山本左の沢治山工事(溪間工2基)を実施し「流域治水」の推進を図った。
なお、工事については現在施行中であり、工期は令和8年3月16日までとなっている。

実施前



実施中



次年度に向けた予定 など
清栄の沢治山工事(溪間工2基予定)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知
森林管理署
(夕張川部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、2410林班3号沢治山工事(溪間工1基)を実施し「流域治水」の推進を図った。
なお、工事については現在施行中であり、工期は令和8年3月16日までとなっている。

実施前



実施中



次年度に向けた予定 など
2410林班3号沢治山工事(溪間工1基予定)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	下刈・つる切による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(夕張川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

つる切実施前



つる切実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	下刈・つる切による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(夕張川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

下刈実施前

下刈実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課

- ・南部耕地出張所

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

農業用水利施設(排水路)の整備



田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

空知総合振興局 産業振興部
・林務課

胆振総合振興局
・森林室

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・山地災害から流域を守る治山対策 ・森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備 	

実施主体：北海道空知総合振興局産業振興部林務課

(夕張川上流地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・夕張市において試験農園地先緊急予防治山工事を実施
- ・夕張市、由仁町、栗山町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

試験農園地先緊急予防治山工事【夕張市】



森林整備事業(植栽)【栗山町】



■次年度以降の取り組み(予定)

- ・要望のあった市町において治山事業や森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策及び森林整備	

実施主体：北海道
胆振総合振興局

(夕張川上流地域
部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、由仁町川端で保育工事(下刈り)を実施、各市町で森林整備事業(間伐、植栽等)を継続的に実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



次年度以降も森林整備事業については継続的に実施。また、森林の荒廃状況や市町からの要望により計画的に事業を実施。

空知総合振興局
札幌建設管理部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(夕張川上流地域
部会)

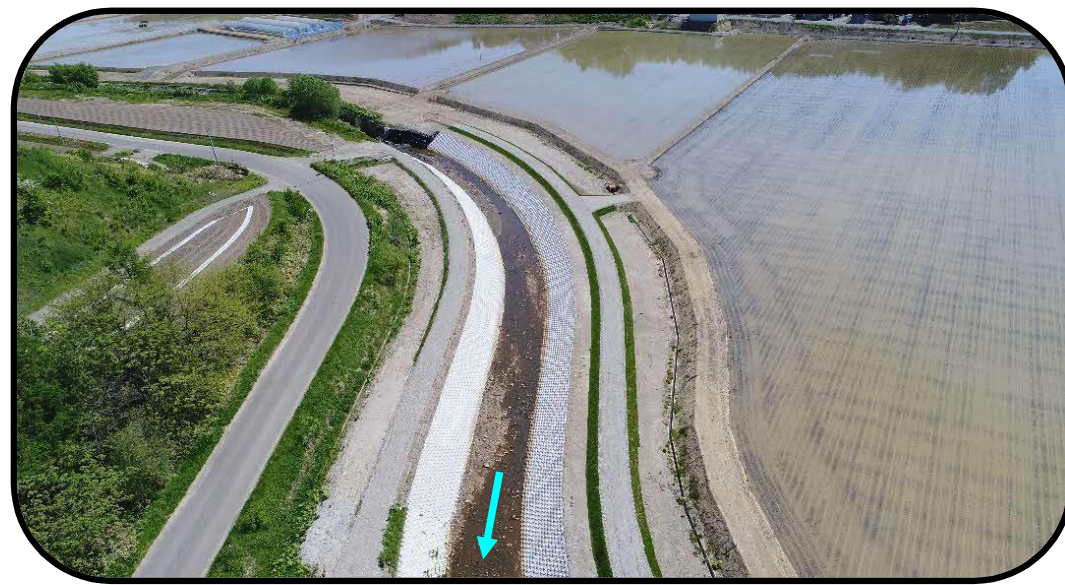
令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた雨煙別川、阿野呂川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

雨煙別川(実施後)



阿野呂川(実施後)



次年度に向けた予定 など

- 次年度以降も引き続き、継続実施している雨煙別川等の河道掘削等を実施する。

札幌開発建設部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	水災害から流域を守る治水対策	

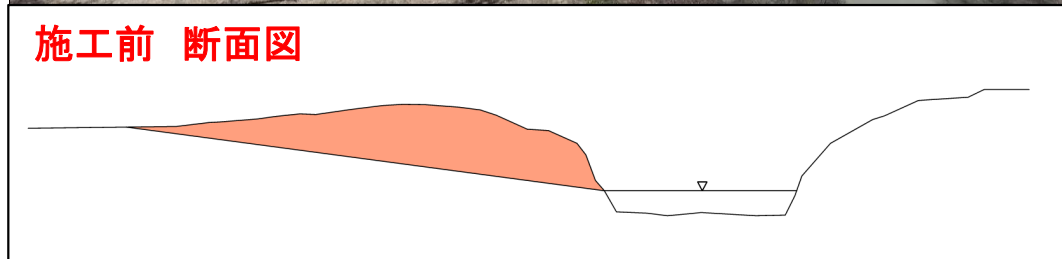
令和7年度 取組内容

- R7年度においては、夕張川流域の河道掘削を実施し、「減災対策」「流域治水」の推進を図った。

実施前



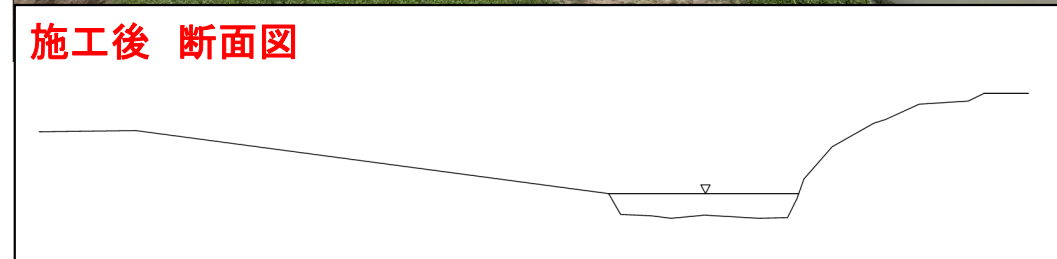
施工前 断面図



実施後



施工後 断面図



次年度に向けた予定
引き続き令和7年度の取組を継続実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災意識の構築に向けた啓発活動	

令和7年度 取組内容

河川事務所職員が「石狩川の治水の歴史」について、講習会にて地域住民約25名に対し説明を行った。過去に石狩川で起きた洪水状況や千歳川の堤防整備、幌向自然再生事業、今後の流域治水の計画についてなどを紹介し、歴史について学びを深めることができた。



講習会の様子

45 江別市周辺の洪水被害状況 45

※基図は石狩川下流浸水想定区域図から抜粋



講習会時に説明した資料の一部

次年度に向けた予定 依頼があれば実施。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	関係自治体との水被害リスク情報の共有・検討	

■令和7年度 取組内容

- ・江別河川事務所では、石狩川・千歳川・夕張川、幌向川の重要水防箇所の合同巡視を関係自治体と毎年実施しており、首長はじめ関係者が危険箇所等の把握と、出水時の体制・河川情報ツールの確認等を行っている。
- ・今年度は重要水防箇所の水防上特に注意を要する場所を巡視を行い、整備の進捗状況を確認しながら、リスク情報・知見の共有を図った。



南幌町



岩見沢市



栗山町



江別市



由仁町

次年度に向けた予定 引き続き令和7年度の取組を継続実施。

幾春別川外地域部会

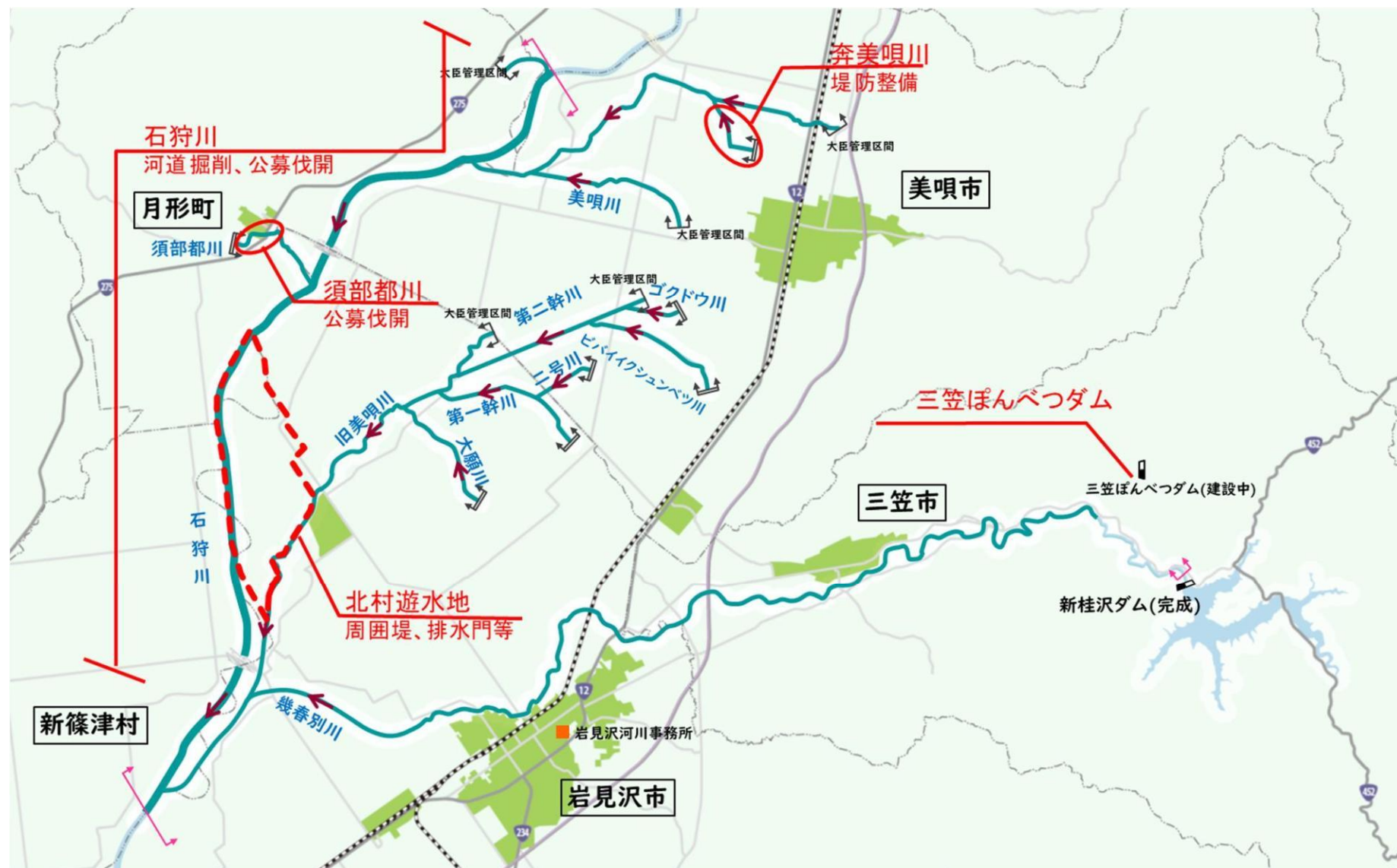
- 札幌開発建設部
- 岩見沢市、美唄市、三笠市
新篠津村、月形町
- 空知総合振興局
- 石狩振興局
- 札幌管区気象台
- 空知森林管理署
- 北海道水源林整備事務所

札幌開発建設部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容		

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所



「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河道掘削の実施	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 洪水氾濫を防ぐ対策として、石狩川の河道掘削を実施
- グリーンインフラを意識して、掘削形状を工夫してたまり環境を形成、ヨシ原等を主体とした草地環境の形成を実施中

実施前



実施後



「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河道内樹木の伐採	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 洪水氾濫を防ぐ対策として、石狩川の河道樹木の伐採を実施
- 伐採は、採取した樹木をバイオマス燃料や製品の原料などとして活用する企業や住民に広く公募を行う「公募伐開」を実施

伐採状況



「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	北村遊水地の整備	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所



■ 盛土工(囲ぎよう堤)



■ 盛土工(囲ぎよう堤)



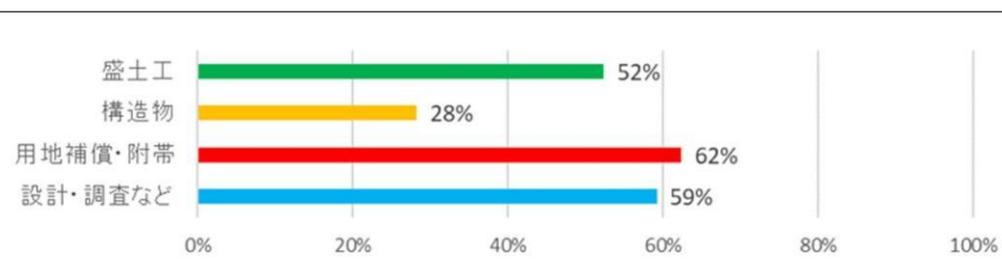
■ 盛土工(周囲堤)



■ 排水門



■ 事業進捗率(全体)



■ 事業工程概要

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考	
盛土工	[Progress bar from H24 to R12]																				周囲堤、囲ぎよう堤、樋門など
構造物																					排水門、越流堤など
用地補償・附帯	[Progress bar from H24 to R12]																				用地補償、補償工事など
設計・調査など	[Progress bar from H24 to R12]																				設計・調査など

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	三笠ぽんべつダム建設	

実施主体：
札幌開発建設部
幾春別川ダム建設
事業所

令和7年度 取組内容

- 幾春別川総合開発事業により幾春別川の支川である奔別川に三笠ぽんべつダムを新たに建設している
- 令和7年度からは堤体打設を実施



	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
工事用道路	■	■							
本体工事		■	■	■	■	■	■	■	
管理設備								■	
地すべり対策工事			■	■	■	■	■	■	
試験湛水									■

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	小学生を中心とした防災教育を引き続き実施	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 岩見沢市立南小学校4年生を対象に川の防災教育を実施
- 「川の流域」「川の形の歴史」「ダムの目的」についての授業を実施。クイズや動画を用いて、川の水がどこから集まるのかや、新桂沢ダムが持つ役割について解説し理解を促した

実施内容

みんなのアクション

岩見沢市内の小学校で防災教育

2025.12.12.

by 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所



※全国流域治水MAP HPより

実施内容



※動画：雨水の行方と地面の様子



「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	岩見沢市防災訓練に参加	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 降雨体験装置の活用やパネル展示を行い、啓発活動を行った

実施内容

みんなのアクション

REPORT

岩見沢市内で市民参加による防災訓練

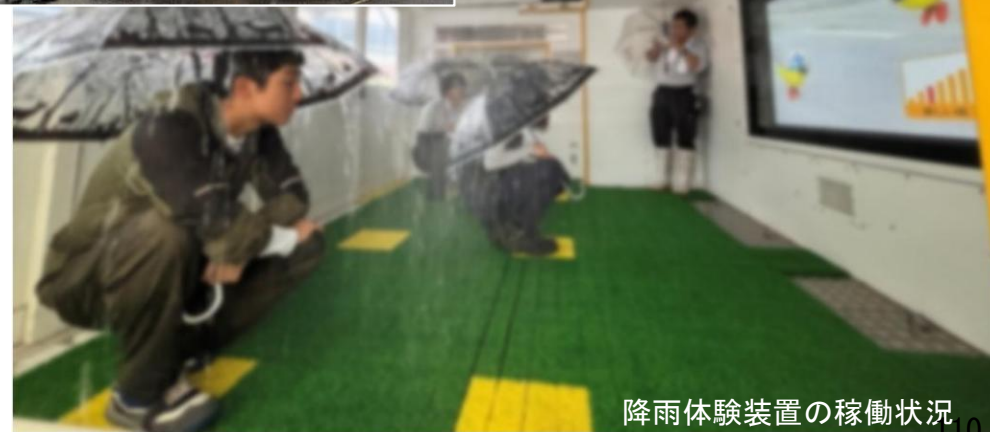
2025.12.12.

by 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所



※全国流域治水MAP HPより

実施内容



降雨体験装置の稼働状況

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	排水ポンプ車操作説明会を開催	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 旧北村排水機場において、地元消防団等に当事務所配備の排水ポンプ車の操作説明会を行った

実施内容

実施内容



排水ポンプ車の操作説明



ポンプ車の排水状況

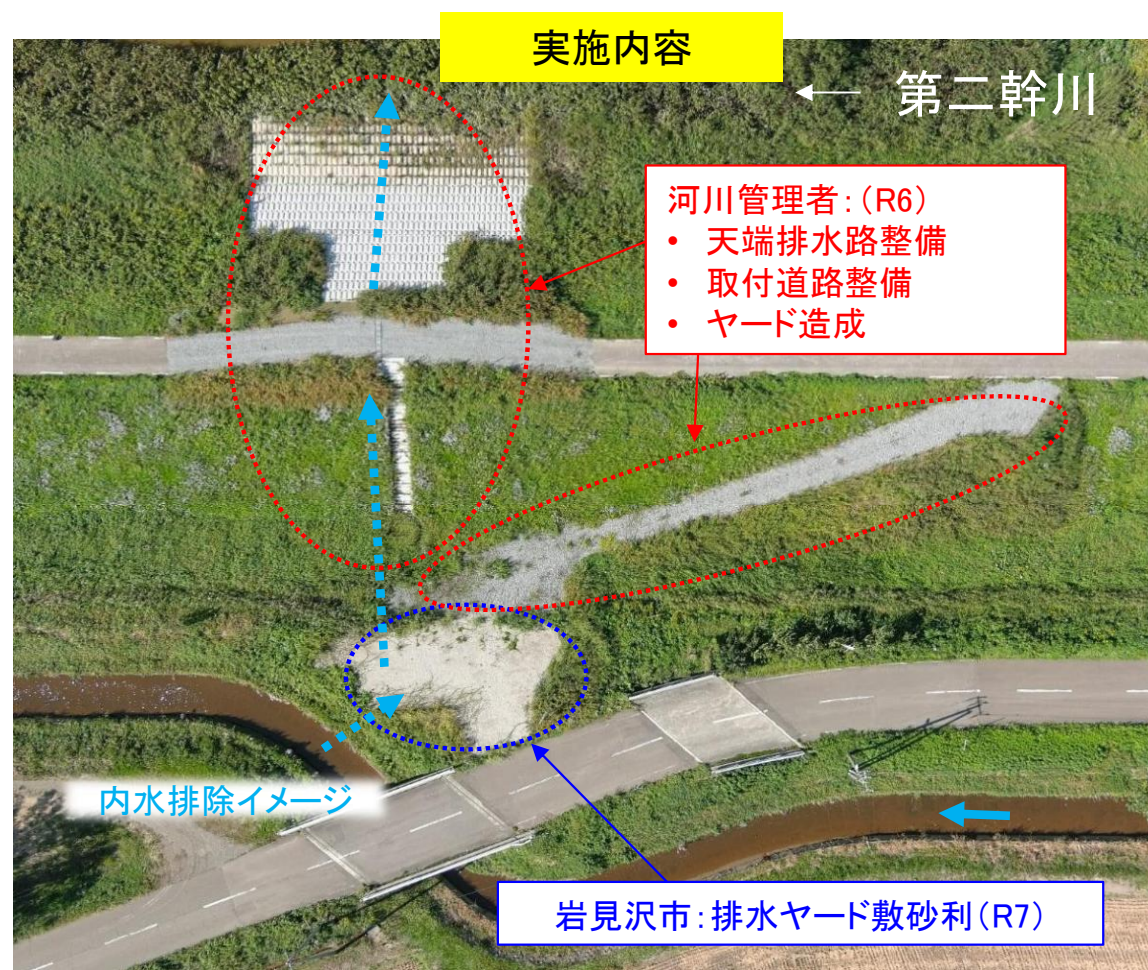
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	排水作業ヤードの造成（岩見沢市と協同）	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 第二幹川において、内水排除のための作業ヤードを岩見沢市と協同で造成した



河川管理者施工完了

岩見沢市施工状況(敷砂利)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	農機具待避ヤードの造成	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 第二幹川及び美唄川において、洪水時の農機具待避ヤードを造成した

実施前



実施後



退避を可能とする
「退避ヤード造成」(レジリエンスベース)

河川事務所

- 被災時における農作業機器等の退避および管理車両等の通行を妨げないためのヤード造成。
- 掘削残土を有効活用したヤード造成

自治体

- 造成箇所へのアクセス性確保のための道路整備など。

次年度は、完成に向けて植生工及び天端敷砂利を実施予定。
また、運用に向けて、地元広報誌への掲載や看板設置等により地域住民への周知を図る。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	流域治水・田んぼダム推進PR	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 岩見沢市広域協定運営委員会で主催する、農村コミュニティ強化のためのイベント「ともに考える暮らしと農業」にて、田んぼダムや治水事業のPRを行うことで流域治水の推進を行った

実施内容



企業ブースによるパネル展示

実施内容



流域治水の取組紹介

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	ワンコイン浸水センサの設置	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 内水が浸水しやすい石狩川と美唄川の合流点部において、樋門呑口部にワンコイン浸水センサを設置

実施内容



実施内容



「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	地域防災力向上（次の一手）の取組	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 流域自治体に関し、流域治水・減災対策の取組を更に推進するため、河川管理者より「次の一手」となるメニューを提案

実施内容

- 岩見沢市：防災訓練用広報パネル作成
- 美唄市：まるごとまちごとHM設置計画作成
- 月形町：浸水AR写真作成
- 三笠市：要配慮者施設避難訓練のシナリオ作成
- 新篠津村：浸水AR写真作成



自治体との協議状況(岩見沢市)



※浸水AR写真作成(新篠津村)

提案内容は、次年度の自治体で開催する訓練などで活用するほか、引き続き来年度も「次の一手」に関する提案を行っていく。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	まるごとまちごとハザードマップ周知の支援（美唄市と協同）	

実施主体：
札幌開発建設部
岩見沢河川事務所

令和7年度 取組内容

- 「次の一手」となるメニューとして、まるごとまちごとハザードマップの設置箇所（案）を提案

公園設置案（全体図）



実施内容



そう てい しん すい しん
想定浸水深
Flood Water Depth (Projected)

この場所は〇〇川が氾濫すると
3.0m浸水する可能性があります

美唄市 / BibaiCity R〇〇〇

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：札建農業
(幾春別川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を發揮し、「流域治水」の推進を図った

実施前

幌向ダム



【貯水位運用前】
6月中旬の状況

実施後

幌向ダム



【貯水位運用】
8月1日から8月31日 EL=138.00m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。

岩見沢市、美唄市、三笠市
新篠津村、月形町

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会や各種団体への出前講座による防災教育の実施 ・ 小中学校における防災チャレンジ(小中学生を対象とした防災講話や防災資機材の組立て)の実施 ・ 市内在住の防災関係有資格者を対象に会議や研修会を実施 	

実施主体：岩見沢市

令和7年度 取組内容

- ・ 出前講座、防災関係有資格者連絡会議、市民参加による防災訓練を実施した。

○出前講座の実施（令和7年度12月末現在）

市民の防災意識向上のため、ハザードマップの見方や避難のタイミング、防災情報の伝達手段についての防災講話や、非常持出し品の紹介、段ボールベッド、段ボール間仕切り、簡易トイレなどの避難所で使用する資機材の組立て・使用体験を実施した。

・ 防災チャレンジ（小・中学校等での出前講座）

1. 岩見沢高等養護学校（全学年）

日時：6月17日（火）14時10分～15時30分

会場：岩見沢高等養護学校

参加者：99人

2. 緑陵高等学校（全学年）

日時：9月22日（月）9時45分～12時40分

会場：緑陵高等学校

参加者：592人

	実施回数	参加人数
町会・自治会	15回	593人
防災チャレンジ	9回	1,365人
企業・団体	4回	55人
計	28回	2,013人



出前講座（町会・自治会）



出前講座（企業・団体）

3. 志文小学校・メープル小学校・清園中学校
日時：9月25日（木） 9時35分～11時25分
会場：清園中学校
参加者：109人

4. 幌向小学校・豊中学校
日時：10月1日（火） 13時20分～15時10分
会場：豊中学校
参加者：216人

5. 南小学校（4年生）
日時：10月2日（水） 10時30分～12時10分
会場：南小学校
参加者：57人

6. くりさわ学舎（1～6年生）
日時：11月7日（金） 11時35分～14時25分
会場：くりさわ学舎
参加者：115人

7. 岩見沢小学校（4年生）
日時：11月14日（金） 10時30分～12時00分
会場：岩見沢小学校
参加者：44人



防災チャレンジ
（段ボールベッド組立体験）



防災チャレンジ
（車いすトイレ体験）



防災チャレンジ（簡易トイレ体験）

8. 美園小学校（5年生）

日時：11月19日（水）13時20分～14時55分

会場：美園小学校

参加者：62人

9. 第一小学校（4年生）

日時：11月28日（金）13時30分～15時05分

会場：第一小学校

参加者：71人

○防災関係有資格者連絡会議の実施

市内在住の防災士などの防災関係有資格者を対象に、地域の防災リーダーの育成及び防災関係有資格者と地域との連携強化を図るため、令和元年度より会議を実施している。市内を5ブロックに分けた地域別の会議を基本として実施しており、令和4年度からは、有資格者の防災に関する知識の向上やスキルアップを目的に講師を招き研修会を実施して防災活動に対する意識高揚を図っている。

令和6年度からは、女性の視点に配慮した備蓄品の整備や避難所運営などの取組みの充実化を目的とした意見収集などのため、女性の有資格者を対象とし、女性会議を実施している。



防災チャレンジ（水消火器訓練）



防災チャレンジ（煙体験）



防災関係有資格者女性会議

○市民参加による防災訓練

災害協定締結企業・防災関係機関等の協力のもと体験型の各種訓練を実施することにより、地域防災力の向上と市民の防災意識の高揚を図るために実施している。

日 時：7月26日（土） 9時00分～11時30分

会 場：日の出小学校

参加機関：22機関

参加人数：90人



市民参加による防災訓練
（福祉用具体験）



市民参加による防災訓練
（降雨体験）



市民参加による防災訓練
（はしご車搭乗体験）



市民参加による防災訓練
（炊き出し訓練）

令和8年度においても、継続して出前講座、防災チャレンジ、防災関係有資格者会議を実施予定。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	水害から地域を守る治水対策	

実施主体：美唄市

令和7年度 取組内容

・河床浚渫や雑木処理などの治水対策を実施し、洪水氾濫の防止・軽減に取り組んだ。

実施前

南一の沢川(南美唄町仲町地区)



実施後



令和8年度についても、河川の流下能力を高めるための浚渫等を実施し、洪水被害の軽減を図る。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発
対策内容	水害から地域を守る治水対策と減災に向けた自助・共助の取り組みの推進	

実施主体：美唄市

令和7年度 取組内容

- ・一日防災学校支援や市民向け防災講話等の防災教育を実施し、地域防災力向上の推進に取り組んだ。
- ・災害情報手段の整備(既存：メール・電話配信サービス登録啓発、防災行政無線整備等)に取り組んだ。

実施内容

①一日防災学校支援 (5校 延べ7回 618人参加)



②出前講座 (13回開催 延べ437人参加)



実施内容

- ①情報配信サービス登録啓蒙 (R7.12.31現在)(前年比)
- | | |
|--------------|------------|
| 登録制メール登録者数 | 351人(45人増) |
| 電話配信サービス登録者数 | 99人(28人増) |



- ②デジタル同報系防災行政無線整備 (R8年度運用開始)
- ・避難所4箇所(4箇所)に屋外拡声子局整備
 - ・要配慮者世帯、要配慮者利用施設等への配付用に戸別受信機100台整備

令和8年度についても、減災に向けた防災教育の実施や災害情報配信サービスの登録率向上を図るとともに、新たな一手として、住民自ら危険性を把握できるよう水害リスクの可視化に取り組むなど、地域防災力を高める。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について	実施主体：美唄市
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	
対策内容	水害コミュニティタイムラインの作成を支援		

令和7年度 取組内容

- ・自主防災組織等(4団体)に対してコミュニティタイムラインの作成支援を実施し、地域内での「逃げ遅れゼロ」を目指す共助の取り組みの推進を図った。

実施内容

- ・地域情報を把握するためのヒアリング(1回実施)



実施内容

- ・行動計画作成のワークショップ(2回実施)



令和8年度についても、コミュニティタイムラインの作成支援を行うとともに、既に作成したコミュニティタイムラインに基づいた防災訓練等を実施することで、ブラッシュアップを図り、一層の地域防災力向上に取り組む。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：三笠市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災訓練・防災教育の推進	

令和7年度 取組内容

- ・ 小中学校、高校を対象とした防災教育を実施
- ・ 町内会、自主防災組織等を対象とした防災講習会を実施

防災講習会



少年消防クラブ「避難所運営ゲームDoはぐ」



令和8年度についても、引き続き、児童生徒を対象とした防災教育や、町内会・自主防災組織等を対象とした防災講習会を継続して実施し、市民の防災意識の向上を図る。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	要配慮者利用施設を対象とした避難訓練シナリオの作成	

実施主体：三笠市

令和7年度 取組内容

- 配慮者利用施設の避難訓練をより実践的にするため、岩見沢河川事務所計画課と連携し、浸水深、浸水継続時間、避難発令、避難に要する時間など、訓練に必要な情報の取りまとめを行った。

避難訓練シナリオ

テキスト

【三笠市】要配慮者利用施設（ひだまりの里）を対象とした避難訓練シナリオの作成支援

「避難訓練シナリオの作成支援」の概要

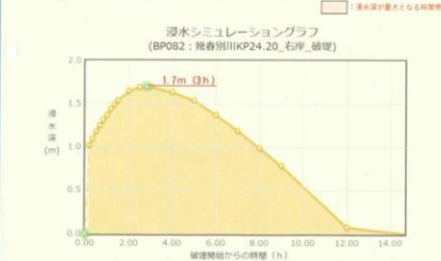
ひだまりの里の避難訓練をより実践的にするため、現実的な訓練シナリオの作成が必要と考えています。本年度は浸水深・浸水継続時間・避難発令・避難に要する時間などの訓練シナリオに必要な情報の取りまとめを行いました。

情報の取りまとめ内容

【浸水リスク情報】
「ひだまりの里」に隣接する浸水リスク情報（幾春別川による出水）の取りまとめを実施
対象箇所：想定最大規模の降雨（72時間総雨量439mm）
決壊位置：幾春別川KP24.25年（ひだまりの里から最も近く、避難で浸水する箇所）
情報：想定し得る最大規模の降雨が発生した際の浸水までの時間、浸水継続時間、最大浸水範囲、浸水範囲の時間変化

表1 浸水リスク情報まとめ（幾春別川 KP24.22決壊時）

浸水範囲	浸水開始時刻	浸水継続時間	最大浸水深	浸水範囲	浸水継続時間	最大浸水深
KP24.2	0:20(0時)	14.8	1.70	1.30	1.65	1.30
				1.30	1.00	0.90



要配慮者利用施設における避難確保に関するeラーニングテキスト

要配慮者利用施設における避難確保に関する研修資料

～利用者の命、救えますか～

令和4年3月
国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課・砂防計画課

令和8年度については、要配慮者利用施設に対し、シナリオやテキストを活用した避難訓練の支援を行う。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	・小・中学校における防災教室 ・第3自治区住民対象の防災避難等訓練	

実施主体：
新篠津村

■令和7年度 取組内容

- ・小・中学校で避難所運営訓練(Doはぐ)及び段ボールベッドの組立体験を実施。
- ・第3自治区の住民を対象に防災避難訓練及び防災講演会、避難所設営訓練を実施。

実施内容

・防災教室を通じて実践的に学び、災害時の行動をより具体的にイメージしてもらうことを目的として行った。



実施内容

・石狩川の氾濫を想定した避難訓練を実施。避難後には防災講演会、避難所設営訓練等を行い、防災意識の向上を図った。



令和8年度においても、小・中学校の防災教室及び住民を対象とした防災避難訓練等を継続的に実施し、防災に対する理解を深めるとともに、平時から防災意識の向上を図っていく。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式(案)

実施主体：月形町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	町民を対象とした防災教育の推進	

■令和7年度 取組内容

・令和7年度においては、継続実施している町内教育施設等の防災訓練への協力により、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を図った。

10月5日 月形町総合防災訓練



11月19日 月形小学校 防災学習



次年度に向けた予定

- ・町内教育施設及び町内行政区に対しての防災講話、防災訓練を断続的に実施
- ・タイムラインの確認及び修正

空知総合振興局
札幌建設管理部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(幾春別川外地域
部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた利根別川河道掘削、ポイントネ川の遊水池整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

利根別川(実施後)



ポイントネ川(実施中)



次年度に向けた予定

- 次年度以降も引き続き、継続実施している利根別川等の河道掘削等を実施する。

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・東部耕地出張所

石狩振興局 産業振興課

- ・整備課

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

農業用水利施設(排水路)の整備



田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業農村整備事業の実施、水田の貯留機能向上	

実施主体：
石狩振興局整備課
(幾春別川外部会)

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを新篠津村で実施



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

空知総合振興局 産業振興部

- ・林務課

- ・森林室

石狩振興局 産業振興部

- ・林務課

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：北海道空知
総合振興局産業振興部
林務課

(幾春別川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 岩見沢市、美唄市、三笠市、月形町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

森林整備事業(植栽)【美唄市】



森林整備事業(下刈)【月形町】



■次年度以降の取り組み(予定)

- ・ 要望のあった市町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知総合振興局森林室
(幾春別川外地域部会)

令和7年度 取組内容

- ・東美唄保育工事(美唄市)を実施
- ・ポンベツ保育工事(月形町)を実施
- ・幌内本沢保育工事(三笠市)を実施
- ・空知団地育林事業を美唄市、月形町にて実施
- ・岩見沢地区ほか森林整備事業を岩見沢市、三笠市にて実施



溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

次年度に向けた予定 など

- ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
- ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
石狩振興局林務課
(幾春別川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・新篠津村において、治山事業により下刈等を実施したことで、山地保水力強化による「流域治水」の推進を図った。

実施前



雑草等により植栽木に必要な日光や養分を奪われ成長が阻害される

実施後



下刈を行うことで植栽木の健全な成長を促し森林の多面的機能の高度発揮を目指す

次年度に向けた予定

- ・森林の荒廃状況等による優先度に基づき、治山事業を着実に推進するほか、森林整備事業を計画的に実施する。

札幌管区气象台

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区气象台
(幾春別川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

- 防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をとした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力
- ・石狩振興局、空知総合振興局及び関係する全5市町村（新篠津村、岩見沢市・美唄市・三笠市・月形町）と、個別の懇談を実施した。
 - ・空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施した。
 - ・新篠津村での防災講演を実施した。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・電話による自治体等からの問合せに対して、のべ43回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

空知森林管理署

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知
森林管理署
(幾春別川部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、西桂沢治山工事(床固工1基、流路工51m)を実施し「流域治水」の推進を図った。

床固工実施前



床固工実施後



次年度に向けた予定 など
西桂沢治山工事(流路工25m予定)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知
森林管理署
(幾春別川部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、西桂沢治山工事(鋼製床固工1基、流路工51m)を実施し「流域治水」の推進を図った。

流路工実施前



流路工実施後



次年度に向けた予定 など
西桂沢治山工事(流路工25m予定)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	下刈・つる切による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(幾春別川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

つる切実施前



つる切実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	下刈・つる切による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(幾春別川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

下刈実施前



下刈実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	

実施主体：
森林整備センター
(幾春別川外地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・ 流域治水に資する植栽等の森林整備を実施。

植栽実施前

植栽実施後



次年度以降も植栽等の森林整備を計画的に実施

雨竜川外地域部会

- 滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、
奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、
妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、
沼田町、幌加内町
- 札幌管区気象台
- 旭川地方気象台
- 空知森林管理署、空知森林管理署北空知支署
- 北海道水源林整備事務所
- 空知総合振興局
- 上川総合振興局
- 札幌開発建設部

滝川市、奈井江町、浦臼町、新十津川町、
妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、
沼田町、幌加内町

【滝川市】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の伐開及び浚渫・浸水センサの設置	

実施主体：滝川市

令和7年度 取組内容

・R7年度においては、普通河川「第2熊穴川」「深沢川」「第1江部乙川」「駄馬の沢川」において伐開・浚渫を実施したほか、低コストで河川敷や雨水柵内部への設置が可能な「浸水センサ」を設置することで浸水の発生状況を迅速に把握し防災行動につなげる。

実施前

駄馬の沢川での伐開・浚渫



実施後

駄馬の沢川での伐開・浚渫



ワンコイン浸水センサの設置



次年度に向けた予定 など

・引き続き普通河川の伐開及び浚渫を進め、水位上昇の軽減や氾濫防止を図る

【滝川市】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：滝川市

令和7年度 取組内容

- 例年同様に滝川市水害タイムライン運営協議会に係る会議を開催したほか、市民を対象とした防災教室及び研修会を実施した。

避難所体験会



DIG(災害想像カゲーム)を活用した防災講座



次年度に向けた予定 など

- 訓練を通じて「石狩川滝川地区水害タイムライン」の運用の実行性を確保し、必要な改善を図る。
- 市民を対象とした各種防災研修等を行い防災意識の高揚を図る。

【奈井江町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：奈井江町

令和7年度 取組内容

- 自然災害による内水被害に備えるため、町内2地区にある排水機場の維持管理を行い、「流域治水」の推進を図るとともに田んぼダムへの普及啓発の実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

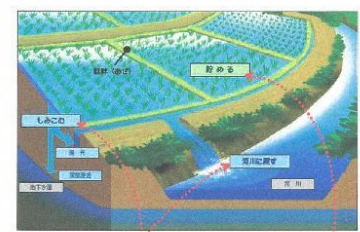


被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

大雨時に見込まれる田んぼの効果（田んぼダム）について

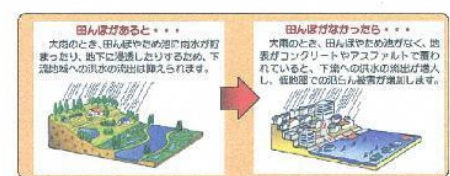
みんなに思いやりの心を伝えているだけでなく、田んぼは自然災害を未然に防ぐ効果があることを知っていますか？

- 田んぼは「自然」に由来しており、雨水を貯めることができます。10aあたり約200立方メートル（約30リットル）の水を貯めることができます。この水は約200立方メートルの洪水を貯められます。
- 大雨が降った時には、田んぼがダムのように水を貯めて、徐々に水を放つことで、日本各地の洪水被害を軽減することができます。また、田んぼは洪水を貯めるだけでなく、下流の河川を浄化しているのです。



田んぼの水はどのようにして活用されるのか？
田んぼの水は、雨や雪の融け水、地下水の浸透などによって、徐々に田んぼに蓄積され、徐々に川に流れ込みます。この水は、田んぼの灌漑や、川の水質の浄化に役立ちます。

田んぼは、自然災害を未然に防ぐ効果があります。大雨が降った時には、田んぼがダムのように水を貯めて、徐々に水を放つことで、洪水被害を軽減することができます。



また、今年各地で異常な大雨が多発しています。降り止んだ後は、復旧や排水路を点検して河川へ流れ込み、特に下流地域に洪水被害を招き、道路などに決壊被害をもたらします。しかし、農業者の力を借りて水田に雨水を貯めることにより洪水被害を最小限にすることができます。

田んぼダムは、自分たちの地域を自分たちで守る取り組みですが、より多くの田んぼで取り組まれることで、効果を発揮するものであり、自らの農業者の皆さんご協力により実施されるもので、災害に備わった安心、安全な町づくりのため、田んぼダムの取組にご理解、ご協力をお願いします。

次年度以降の取組
排水機場の機能が十分に発揮されるよう、適正な維持管理に努める。
パンフレット等で田んぼダムへの啓発を継続する。

【奈井江町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

■令和7年度 取組内容

- 町民に対して迅速かつ確実に防災情報を伝達する仕組み「防災行政無線整備」を行い、市街地の屋外スピーカーの設置や公共施設等の放送設備を活用した情報伝達の仕組みを構築する他、既存の登録制メールや固定電話、FAX、LINEでの情報配信の仕組みに加え、新たに防災アプリを導入し、令和8年3月末より共用開始する。

屋外スピーカー設置箇所

奈井江町役場



奈井江町体育館



公営住宅



次年度に向けた予定 など

- 令和7年度に速やかに確実な防災情報の伝達を行うため、「防災アプリ」をより多くの町民等の利用促進に向け、各種イベントや会議等での普及啓発を図る。

【奈井江町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：奈井江町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

■令和7年度 取組内容

- ・ 地域包括支援センターの役割である要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者並びにその家族等の福祉の向上を図り、効果的な予防サービス及び地域ケアの総合調整を行う奈井江町地域ケア会議において、医療施設関係者、介護事業所職員等に対し、奈井江町防災ガイドマップ(ハザードマップ)について情報交換を行った。

奈井江町防災ガイドマップ(ハザードマップ)情報交換



奈井江町防災ガイドマップ(ハザードマップ)



次年度に向けた予定 など

- ・ 今後も、地区などの防災訓練や防災セミナー、会議等々での説明し、いつ、どこで災害が発生しても落ち着て行動できるよう、防災意識の向上を図っていきたい。

【奈井江町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：奈井江町

令和7年度 取組内容

・防災道の駅に指定されている、道の駅「ハウスヤルビ奈井江」で開催された「ないえ冬まつり」会場において、国土交通省北海道開発局札幌開発建設部や北海道札幌方面滝川警察署、民間事業所の協力いただき、地域における住民の防災意識の向上を目的に、イベント内で防災に関する展示等々を実施

国土交通省北海道開発局札幌開発建設部

奈井江町



北海道札幌方面滝川警察署

損害保険ジャパン株式会社



次年度に向けた予定 など

・防災道の駅に指定された、道の駅「ハウスヤルビ奈井江」を拠点とし、地域の枠を超えた広域的な支援活動の防災拠点として防災意識の向上を図る。

【浦臼町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：浦臼町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	護床整備工事の実施	

令和7年度 取組内容

大雨などによる出水により、護床ブロックに損傷が見つかったため、早急に整備を実施した。

実施前



実施後



令和8年度以降 河川の護岸改修工事を予定

【浦臼町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：浦臼町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	護床整備工事の実施	

令和7年度 取組内容

- 農業施設(田んぼダム81.6ha)により、雨水を貯留し、内水氾濫被害を軽減。

実施内容



浦臼町 田んぼダム 流域貯留施設(平常時)

令和8年度も同面積にて継続して取組予定

【新十津川町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
新十津川町

令和7年度 取組内容

- ・町管理河川の浚渫事業の実施
- ・地元農家等で構成される河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

河川浚渫事業



河川愛護組合による河川の草刈り



次年度に向けた予定

- ・河川堆積土砂管理計画に基づく町管理河川の浚渫事業の実施
- ・河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

【新十津川町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	突然の豪雨に際し、小規模排水路への過大な水の流出を防ぐために田んぼダムを行う環境を整備。	

実施主体：
新十津川町

■令和7年度 取組内容

- 令和7年度では町内で行われている農地整備事業により区画拡大されたほ場の落口に水位調整ゲート付き落口柵を設置し、田んぼダムを行う環境が出来上がっている。

設置状況



実施内容(深水状態)



農地整備事業は毎年町内で実施されており、ほ場の区画拡大も行われている。区画拡大が行われているほ場の落口柵も水位調整が可能な柵を施工し、田んぼダムを行うことが可能なほ場は年々増加しており、豪雨時の過大な排水への流出防止を行う環境が整えられている。

【妹背牛町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：妹背牛町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の河道掘削・排水機場の整備	

令和7年度 取組内容

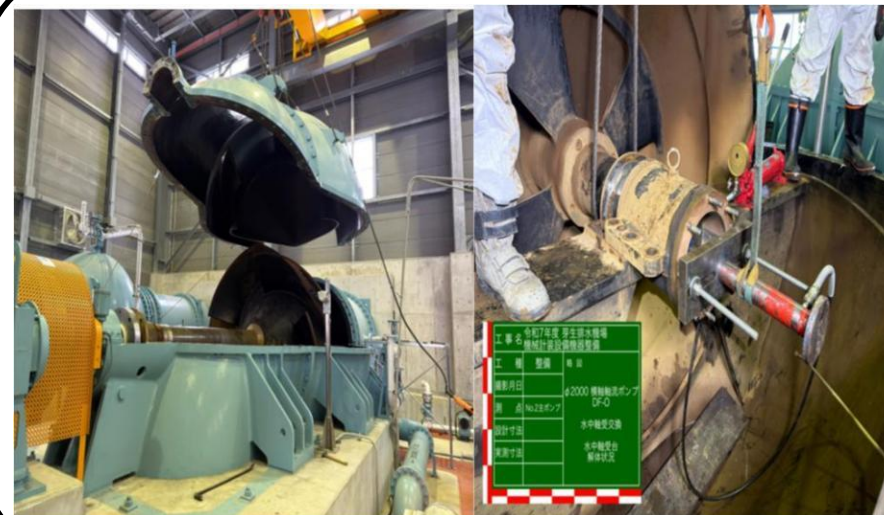
- 令和7年度においては、継続実施している普通河川の河道掘削の実施、及び排水機場の整備を行った。また、田んぼダムが速やかに実施できるよう関係協力者への周知を図った。

実施内容



樹木伐採・河道掘削

実施内容



排水ポンプ整備

次年度に向けた予定

令和8年度は、農業用排水路の堆積土砂の掘削及び排水機場の整備を継続する。

【秩父別町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河川災害から流域を守る対策	

実施主体：秩父別町

■令和7年度 取組内容

- ・R7年度においては、前年度に引き続き農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)の推進を図った。
令和7年度は7月19日(土)に実施

実施内容



次年度以降も、農業用施設による流出抑制対策(田んぼダム)を継続的に実施出来るよう、流域治水の推進を図っていく。

【秩父別町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	町民等を対象とした、防災意識の啓発活動	

実施主体：秩父別町

■令和7年度 取組内容

・町民等を対象とした防災訓練や小中学生を対象とした1日防災学校を開催し、避難所の設営やAEDの使い方講座、心臓マッサージ体験、備蓄食糧試食体験など災害時の行動等について学びました。

実施内容



9/11 1日防災学校 心臓マッサージ体験

実施内容



11/29 秩父別町防災訓練 避難所設営訓練

次年度以降も、自主防災組織を主体とした地域住民参加による防災訓練を継続的に実施し、流域治水の推進を図っていく。

【雨竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	崩壊及び洗堀をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	農地を守る護岸対策	

実施主体：雨竜町

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、鴨居沢川の崩壊しかけていた法面の被害拡大を防止するため護岸工事を実施した。

実施前



実施後



令和8年度以降については幹線排水路の浚渫工事を実施予定。

【北竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：北竜町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の河道掘削及び伐木事業	

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、普通河川御料川の河道掘削及び伐木事業を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



・御料川浚渫工事

実施後



・御料川浚渫工事

- 普通河川の河道掘削及び伐木事業(R8年度～R11年度 8河川予定)

【北竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	普通河川の護岸整備事業	

実施主体：北竜町

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、普通河川(尻無川・上田川)の護岸整備事業を実施し「流域治水」の推進を図った。

実施前



・上田川護岸整備工事

施工中



・上田川護岸整備工事

- 普通河川の護岸整備事業(R8年度～R12年度 8河川予定)

【北竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：北竜町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	排水機場機能回復事業	

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、碧水排水機場の更新する主要機械を製作し「流域治水」の推進を図った。

機場外部



・碧水排水機場

機械室内部



・碧水排水機場

- ・ 排水機場機能回復事業(R5年度～R10年度 碧水排水機場)

【北竜町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：北竜町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	田んぼダム	

■令和7年度 取組内容

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として農業施設(田んぼダム)により、雨水を貯留し、内水氾濫被害を軽減し「流域治水」の推進を図った。

田んぼダム



・田んぼダム(写真左が河川)

田んぼダム



・落水量調整装置等を活用

- ・ 次年度以降未定

【沼田町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：沼田町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

令和7年度 取組内容

- 東部地区及び西部地区活動組織で農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続して取り組むとともに、町管理河川等の施設では、側溝の断面確保のための浚渫等を行い、計画的な河川等の管理により、「流域治水」の推進を図った。

実施内容

実施内容

農業施設(田んぼダム)による雨水貯留

【水位調整板による田んぼダムの様子】



町道北竜1号線側溝浚渫



次年度に向けた予定 など

河川等の浚渫・河道掘削・伐木等の実施を継続、河川維持管理計画策定の検討を継続、農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続、各種防災訓練・研修等の実施を継続など、状況に応じた流域治水事業に取り組む。

【沼田町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	水害対応タイムラインの運用を推進	

実施主体：沼田町

令和7年度 取組内容

- 東部地区及び西部地区活動組織で農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続して取り組むとともに、町管理河川等の施設では、側溝の断面確保のための浚渫等を行い、計画的な河川等の管理により、「流域治水」の推進を図った。

実施内容

防災訓練及び防災研修の実施・自主防災組織設立に向けた啓発・防災資材の調達

【沼田町総合防災訓練実施の様子】



【防災研修実施の様子】



次年度に向けた予定 など

河川等の浚渫・河道掘削・伐木等の実施を継続、河川維持管理計画策定の検討を継続、農業施設(田んぼダム)による雨水貯留を継続、各種防災訓練・研修等の実施を継続など、状況に応じた流域治水事業に取り組む。

【幌加内町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：幌加内町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	職員防災教育	

令和7年度 取組内容

役場一般職向けの研修として、気象台が発表する「気象情報」と「その他防災気象情報」を活用して、地域住民の避難に関する判断等の参考にしてもらうことを目的として、旭川地方気象台の方を講師として招き、研修会を開催した。

「気象防災ワークショップ」を、開催することにより、気象台が発表する各種防災気象情報の見方及び意味を正しく認識でき、今後の防災活動に参考にする事ができた。

実施内容



実施内容



今後は、管理職員等の職員へ同研修を行い、職員全体が気象情報を有効的に活用できるようなスキルを持つ環境構築を目指す。

【幌加内町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：幌加内町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	「防災教育に関する取組状況、今後の予定」	

令和7年度 取組内容

幌加内中学校を会場で、洪水や土砂災害に備えるため、生徒の災害時の「生きる力」をはぐくむ取り組みとして、北海道開発局と上川総合振興局の協力のもと、防災学習と降雨体験学習を実施した。

実施内容



実施内容



地域住民を交えた総合的な訓練により、避難時の心構えや避難方法等の理解を深め、災害の防災意識の向上を図る

【幌加内町】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

実施主体：幌加内町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	災害対策懇談会	

令和7年度 取組内容

役場2階大講堂にて、各地区長等約30名の方を対象とした、防災懇談会を実施した。

例年の雨期に入る前に、ゲリラ豪雨(大雨降水)等に伴う雨竜川氾濫に備える心構えを「気象台」、「北海道 危機対策推進幹」、「滝川河川事務所」等からご説明を頂きました。

また、雨竜川(朱鞠内)ダムの嵩上げ予定事業内容の説明を「雨竜川ダム事業所」から、道河川の改修部分を「上川総合振興局旭川建設管理部」からご説明を頂きました。

関係機関(北海道開発局、気象台、上川総合振興局、北海道電力、森林管理署、警察等)から約18名のご参加いただき、町民の方への情報共有を行う事ができた。

実施内容



実施内容



例年同様、次年度も同様に開催を予定とする。

札幌管区气象台
旭川地方气象台

【気象台】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区気象台
(雨竜川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をととした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・ 空知総合振興局及び関係する全13市町（滝川市・砂川市・歌志内市・深川市・奈井江町・上砂川町・浦臼町・新十津川町・妹背牛町・秩父別町・雨竜町・北竜町・沼田町）と、個別の懇談を実施した。
- ・ 空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施。
- ・ 北海道が主催し雨竜町で開催する北海道地域防災マスター研修会において、気象庁ワークショップを実施した。
- ・ 秩父別町防災訓練で防災講演を実施した。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・ 大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・ 電話による自治体等からの問合せに対して、のべ62回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区気象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・ 講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・ 地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・ 市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・ 関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・ 令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・ これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・ これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・ 事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

【気象台】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

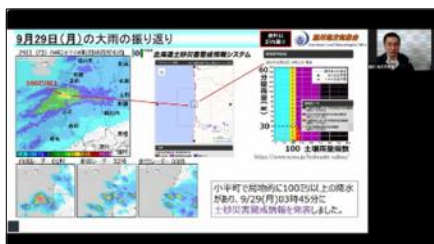
実施主体：
旭川地方気象台
(雨竜川外部会)

令和7年度 取組内容

- 気象情報が自治体等の防災活動に資するよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

防災連携TVによる気象解説(定時・臨時)

毎週木曜日の定期開催と警報級の可能性が高まったときに臨時開催。気象解説以外にも振り返りや参加機関含めた情報提供の共有。
(旭川・留萌各開発建設部、上川・留萌各振興局、気象台の共催)



自治体防災担当者との懇談

気象台が発表する各種防災気象情報の理解促進及び気象台へのニーズを把握、防災気象情報の改善に向けた意見交換を目的に、上川・留萌地方の各自治体防災担当者との懇談を毎年実施している。今年度においては、令和8年5月下旬から運用予定の新しい防災気象情報について説明を行った。

完成レベル相当情報(警報等)【改善後】

- 防災気象情報(大雨警報、暴風警報、大雪警報、強風)を5段階の警戒レベルに区分して発表。
- 対象発表での危険度を整理するため、レベル4相当の情報を2段階に整理。
- 情報発表のみに限らず、レベル4相当の情報を、(例)レベル4相当の警報(大雨)と併せて発表する。

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

大雨警報	暴風警報	大雪警報	強風	注意
レベル5 大雨警報(大雨)	レベル5 暴風警報(暴風)	レベル5 大雪警報(大雪)	レベル5 強風(強風)	注意(注意)
レベル4 大雨警報(大雨)	レベル4 暴風警報(暴風)	レベル4 大雪警報(大雪)	レベル4 強風(強風)	注意(注意)
レベル3 大雨警報(大雨)	レベル3 暴風警報(暴風)	レベル3 大雪警報(大雪)	レベル3 強風(強風)	注意(注意)
レベル2 大雨警報(大雨)	レベル2 暴風警報(暴風)	レベル2 大雪警報(大雪)	レベル2 強風(強風)	注意(注意)
レベル1 大雨警報(大雨)	レベル1 暴風警報(暴風)	レベル1 大雪警報(大雪)	レベル1 強風(強風)	注意(注意)

洪水等に関する情報の主な変更点

- 洪水に関する情報は、洪水警報発令の対象となる河川ごとの情報とし、これまで一律の警報を発令していた。これにより、河川ごとの洪水警報発令の精度を高め、住民の防災行動に資する。
- 洪水警報発令の対象となる河川は、大雨警報発令の対象となる河川と一致する。
- 洪水警報発令の対象となる河川は、大雨警報発令の対象となる河川と一致する。



令和7年10月1日(水)
幌加内町役場での懇談

次年度に向けた予定

- 「上川・留萌管内防災連携TV」による平時・緊急時の解説や「市町村との顕著事例振り返り」等を実施する。
- 自治体の防災担当者との懇談等をとおして、引き続き防災気象情報の利活用に関する普及啓発を実施する。

空知森林管理署北空知支署

【空知森林管理署】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2. 0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知森林管理署
北空知支署
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

・令和7年度においては、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けて森林整備(間伐、植栽等)及び治山事業を実施した。

実施前



上流既設堤体の損傷・洗堀が進行している状況

実施後

治山施設の設置



溪間工(治山ダム)の設置による溪床の安定化

引き続き、流域治水の取組と連携し森林整備(間伐、植栽等)及び治山事業を実施予定です。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

【森林整備センター】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	

実施主体：
森林整備センター
(雨竜川外地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・流域治水に資する除間伐等の森林整備を実施。

間伐実施前



間伐実施後



次年度以降も除間伐等の森林整備を計画的に実施

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・東部耕地出張所
- ・北部耕地出張所

上川総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・上川中部整備室

【空知総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

■令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

農業用水利施設(排水路)の整備



田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	水田の貯留機能向上	

実施主体：
上川総合振興局
産業振興部整備課・
北部耕地出張所
(雨竜川外地域部会)

■ 令和7年度 取組内容
・ 関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行った。

実施内容

「田んぼダム」の手引き



令和4年4月
農林水産省 農村振興局 整備部



施策の内容

概要

- 「田んぼダム」とは、「田んぼダム」を実施する地域やその下流域の潜水被害リスクを低減するための取組です。
- 水田の落水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整板などの器具を取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、溢れる水の量や範囲を抑制することができます。

【「田んぼダム」を実施】



【「田んぼダム」を未実施】





流域治水施策集より

次年度に向けた予定 など
・ 関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

空知総合振興局 産業振興部

- ・林務課
- ・森林室

上川総合振興局 産業振興部

- ・林務課

【空知総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：北海道空知総合振興局産業振興部林務課

(雨竜川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 滝川市、砂川市、深川市、歌志内市、奈井江町、浦臼町、新十津川町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、上砂川町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

森林整備事業(間伐)【深川市】



森林整備事業(植栽)【深川市】



■次年度以降の取り組み(予定)

- ・ 要望のあった市町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

【空知総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知総合振興局森林室
(雨竜川外地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・神楽岡地区復旧治山工事(歌志内市)を実施
- ・温泉地先復旧治山工事(歌志内市)を実施
- ・文珠地区予防治山工事(歌志内市)を実施
- ・空知団地育林事業を滝川市、深川市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町にて実施
- ・トップ地区保安林総合改良工事(新十津川町)を実施
- ・東奈井江保育工事(上砂川町)を実施



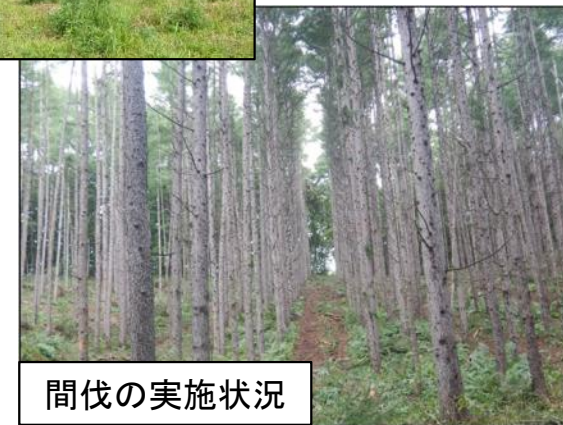
溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

次年度に向けた予定 など

- ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
- ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能の維持・向上のための整備	

実施主体：
上川総合振興局林務課
(雨竜川外地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、幌加内町の森林において、水源涵養機能の維持・向上のための間伐及び造林等の事業を実施し、「流域治水」の推進を図った。

保育間伐前の状況



保育間伐後の状況



植栽前の状況



植栽後の状況



次年度に向けた予定

次年度以降も引き続き計画的に間伐及び造林等の森林整備を実施予定

空知総合振興局
札幌建設管理部

上川総合振興局
旭川建設管理部

【札幌建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(雨竜川外地域部
会)

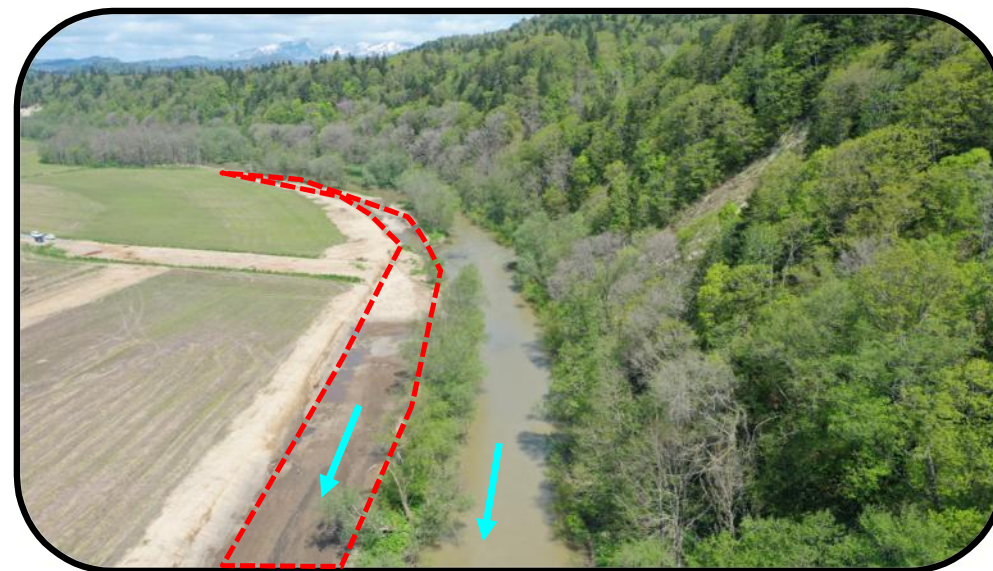
令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた雨竜川、ラウネ川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

ラウネ川(実施後)



雨竜川(実施中)



次年度に向けた予定 など

- 次年度以降も引き続き、継続実施している雨竜川等の河道掘削等を実施する。

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	1日防災学校の企画・支援／市町村が実施する訓練・研修・講習会等への支援	

実施主体：
上川総合振興局
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

- 1日防災学校では、ハザードマップ(リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言)や、逃げ遅れの原因となる心理状態(正常性バイアス)等について、クイズやグループ討議等により理解を促し、地域防災力の強化につなげる。
- 市町村が実施する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し、災害対応力の向上に寄与。

令和7年度に上川管内で実施した(予定含む)各種支援

日時	訓練名	対象者
7/6	和寒町防災研修会	住民
7/15	幌加内中学校 1日防災学校	中学生、教員
7/28	幌加内町災害対策懇談会	関係機関、住民
8/3	富良野市災害対策本部訓練	職員、関係機関、住民
8/28	東神楽小学校 1日防災学校	小学生
9/1	和寒中学校 1日防災学校	中学生、教員
9/5	比布中央学校 1日防災学校	小・中学生、保護者、関係機関
11/4	大雪山火山噴火防災訓練	職員、関係機関
11/5	中富良野町住民避難訓練	職員、関係機関、住民
2月中旬	十勝岳火山噴火総合防災訓練	職員、関係機関、住民



東神楽小学校 1日防災学校



富良野市災害対策本部訓練

次年度に向けた予定 など

- 地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。

【上川総合振興局】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災に関係する各種研修会の開催	

実施主体：
上川総合振興局
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 平常時や災害時における防災知識を習得し、地域における防災活動のリーダーとして地域防災活動を推進する「北海道地域防災マスター」を育成するため、新規認定研修会や、マスター登録者の知識の向上等を目的としたフォローアップ研修を開催。
- ・ 道民の方々に避難所生活や避難所運営を自分事としてとらえ、地域の防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に道が作成している、「避難所運営ゲーム(HUG)北海道2025(愛称:Doはぐ)」の実施に必要な講師を養成する研修会を開催。



Doはぐ講師養成研修会 in 美瑛2025



北海道地域防災マスター認定研修会
in 中富良野町



Doはぐセット

次年度に向けた予定 など

- ・ 地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。

【旭川建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく実施状況について

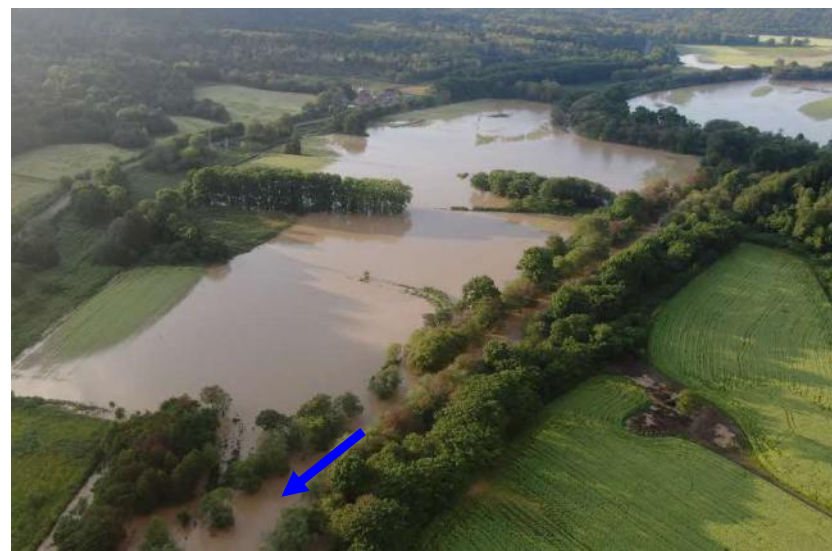
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河道掘削	

実施主体
：旭川建設管理部
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた雨竜川の河道掘削を実施し、「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



雨竜川

次年度に向けた予定

- ・引き続き、雨竜川の河道掘削を進める。

札幌開発建設部

【札幌開発建設部】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	

実施主体：
札幌開発建設部

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた雨竜川での樹木伐開を実施し「流域治水」の推進を図った。



令和8年度取組予定

引き続き令和8年度の取組を継続実施

【札幌開発建設部】流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	

実施主体：

令和7年度 取組内容

・R7年度においては、継続実施していた出前講座、砂川市、幌加内町、新十津川町で降雨体験装置を設置運営し、「流域治水」の推進を図った。

実施内容

実施内容



令和8年度取組予定

引き続き令和8年度の取組を継続実施

空知川地域部会

- ・芦別市、赤平市、富良野市
上富良野町、中富良野町、南富良野町
- ・札幌管区气象台
- ・旭川地方气象台
- ・空知森林管理署
- ・北海道水源林整備事務所
- ・空知総合振興局
- ・上川総合振興局
- ・札幌開発建設部

芦別市、赤平市、富良野市
上富良野町、中富良野町、南富良野町

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：芦別市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	住民等を対象とした防災意識の啓発	

■令和7年度 取組内容

○防災講話

- ・ 4月15日 芦別地区栄養士会（備蓄計画、備蓄品等について）
- ・ 6月15日 中央町内会（避難所開設時に町内会が果たす役割、避難所資材等の作成）
- ・ 7月26日 芦別JCイベント（避難所資材等の作成体験等を協力）
- ・ 8月1日 みんなで介護を考える会（災害図上訓練）
- ・ 9月8日 三角山町内会（災害に備えて）
- ・ 9月16日 社会福祉法人 愛和福祉会 星の広場（災害対策と日頃の備え）
- ・ 10月8日 社会福祉法人 愛和福祉会 きらり（災害対策）
- ・ 11月14日 新城町町内会（避難所資機材の体験等）

○一日防災学校

- ・ 9月4日 上芦別小学校（防災かるた、新聞紙スリッパ、段ボールベッド等作成体験）
- ・ 11月19日 芦別小学校（防災かるた、新聞紙スリッパ、マイタイムライン等作成体験）

○防災訓練

- ・ 8月5日 芦別市災害対策本部要員（道庁に講話を依頼：住民を守るために）
- ・ 8月28日 令和7年度芦別市防災訓練

次年度に向けた予定

- 町内会等からの依頼の機会を活用し、防災意識等の普及を継続
- 学校教育の場を通じ、防災教育の普及を継続
- 防災訓練を通じ、災害に対する気構えや避難行動、避難所開設等を行い理解促進を継続

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式



三角山町内会



新城町町内会



上芦別小学校



芦別小学校

【防災訓練】



「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	様々な世代の市民にとって災害に備える大切さを知ると共に避難時の手順などを学びながらの訓練参加となった。	

実施主体：赤平市

令和7年度 取組内容

- ・今年度は幌岡・共和・住吉地区を対象に防災訓練を実施。（風水害想定）避難訓練等を通して、市民への防災等に関する普及啓蒙を図った。
- ・一日防災学校は市内小学校で実施。警察・消防機関からの協力等で児童に対し、訓練の実体験を通して災害に備える大切さを伝えた。

実施内容

赤平市総合防災訓練(8/23実施)
(市民及び市職員等関係者 125名参加)



実施内容

一日防災学校(8/28)
(段ボールベッド組立体験) (防災カルタ)



次年度も引き続き、市民に災害に備える大切さを伝えていく。防災訓練や出前講座、一日防災学校の機会等においても取組を模索すると共に、風水害等による災害からの被害軽減に繋がるよう取り組んでいきたい。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	(避難経路等を基本) 避難所への移動等を確認すると共に会議の要望に基づき、(防災行政無線) 戸別受信機貸出の拡大取り組みを始め、緊急時の情報伝達手段の確保を図っている。	

実施主体：赤平市

■令和7年度 取組内容

- 一部地区の要望により、防災行政無線で使用の戸別受信機貸出に係る希望調査の実施を行い、情報伝達手段の確保を通して、風水害や土砂災害等からの避難等対策確保の一環を図っている。

実施内容

(希望地区)町内会長会議(11/6)
避難経路見直し等の話し合いから、戸別受信機貸出希望を受け実施に至る。



次年度においても発災時における市民の情報伝達手段を確保するため、標記の取組を継続するとともに、新たな取り組みを模索していく。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：富良野市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	各種資機材に係る配置確認や継続した整備合わせて、土嚢作成訓練の継続	

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施している発電機、排水ポンプなどの配置計画について再確認及び資機材の機能点検や堤内排水路の継続的な整備を実施しつつ、土嚢作成訓練を継続し「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の推進を図った。



次年度に向けた予定 など

- ・ 発電機、排水ポンプなどの配置計画について再確認及び資機材の機能点検
- ・ 堤内排水路の継続的な整備
- ・ 土嚢作成訓練の継続
- ・ 田んぼダムに関する取組みの継続 など

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：富良野市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	風水害対応タイムラインの確認	

令和7年度 取組内容

・令和7年度「富良野市防災訓練」を実施して災害時における指揮・対処能力の向上及び地域住民の避難行動を訓練し、災害対処能力の向上をい図るとともに、地域住民に対して6回の出前講座を実施して風水害に関わる講話を実施するとともに、7校の小・中学校の生徒を対象とした一日防災学校を支援して防災意識の高揚を啓発

実施内容



実施内容



次年度においても、風水害に係る被害軽減の一環として、出前講座の実施及び一日防災学校を支援して防災講話等により防災意識の啓発を図るとともに、R7富良野市防災訓練を実施して災害対処能力の向上を図る。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

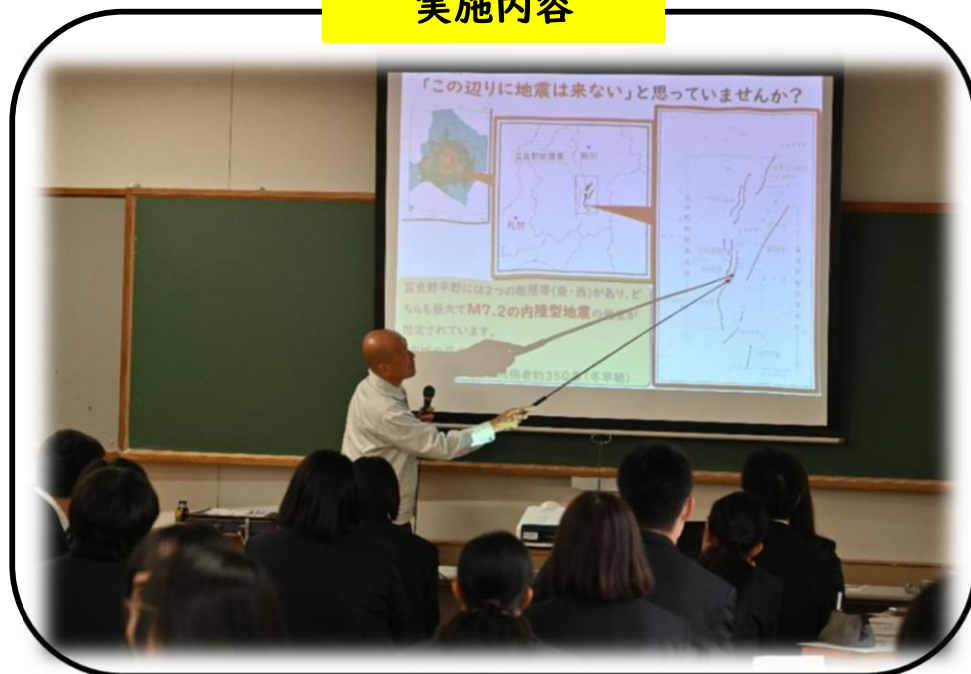
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	風水害対応タイムラインの確認	

実施主体：富良野市

令和7年度 取組内容

・令和7年度「富良野市防災訓練」を実施して災害時における指揮・対処能力の向上及び地域住民の避難行動を訓練し、災害対処能力の向上をい図るとともに、地域住民に対して6回の出前講座を実施して風水害に関わる講話を実施するとともに、7校の小・中学校の生徒を対象とした一日防災学校を支援して防災意識の高揚を啓発

実施内容



実施内容



次年度においても、風水害に係る被害軽減の一環として、出前講座の実施及び一日防災学校を支援して防災講話等により防災意識の啓発を図るとともに、R7富良野市防災訓練を実施して災害対処能力の向上を図る。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士スキルアップ研修会、出前講座など、防災教育の取り組みを実施 ・防災行政無線デジタル化、防災ガイドブックの作成など、防災対策の取り組みを実施 	

実施主体：
上富良野町

令和7年度 取組内容

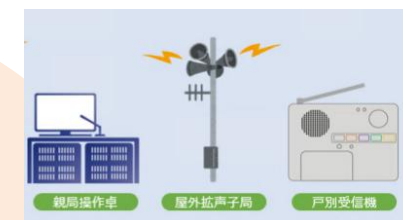
・ R7年度においては、継続実施している防災士スキルアップ研修会や出前講座など、防災教育の取り組みを実施した。また、防災行政無線のデジタル化や防災ガイドブックの作成など、住民周知を目的とした防災対策の取り組みを実施した。

【防災教育の取り組み】

- 防災士スキルアップ研修会
講演と救急救命講習(7/27 参加者12名)
- 出前講座
住民会、学校、民間施設などに対する防災講座
(5回開催、延べ366名参加)

【防災対策の取り組み】

- 防災行政無線デジタル
R5から運用
親局、子局、戸別受信機
移動系無線(車載型、携帯型)
- 防災ガイドブックの作成
R6から配布開始



次年度以降も継続し、住民を対象とした防災教育の取り組み、防災行政無線や防災ガイドブックの整備を行う。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
対策内容	水防活動等の迅速化、水害対策に活用出来るハードの整備	

実施主体：
中富良野町

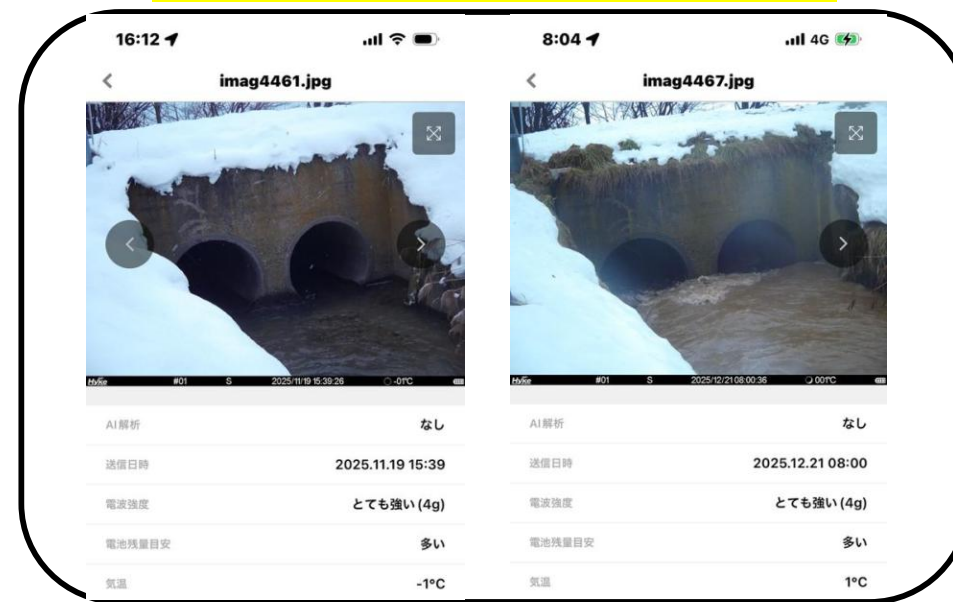
令和7年度 取組内容

町内の小中河川及び内水の氾濫発生状況を迅速に把握し、町内の河川パトロールを適切に実施するため、国土交通省のワンコイン浸水センサー実証実験に参加するとともに、河川監視用カメラの設置について検討中です。

ワンコイン浸水センサー実証実験



河川監視用カメラの設置



次年度に向けた予定

・実証実験への参加成果により、令和8年度以降の本格的な運用について検討します。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	河川防災ステーション(MIZBE STATION)の整備着手	

実施主体：南富良野町

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、用地造成と並行して河川防災ステーション建屋の建設に着手、R8秋頃に予定する水防拠点機能の供用開始に向け、整備事業を推進中。

河川防災ステーション (M I Z B E S T A T I O N)



防災機関の活動拠点 「ステーション建屋」



- ・ 1階：事務室、展示ロビー、トイレ、シャワー室、防災資機材庫（国、町）
- ・ 2階：現地災害対策室（国）、水防団員待機室（町）、展望フロア、太陽光発電パネル
- ・ 屋上：非常用電源、自衛隊通信アンテナ架台（2組）、アンテナ張線アンカー（同）

R8年度内における水防拠点機能の供用開始に引き続き、「防災ステーション」～「かわまち」への整備を進め、平常時と災害発生時いずれの場面においても有効に機能し、活用し得る施設をの完成を目指す。

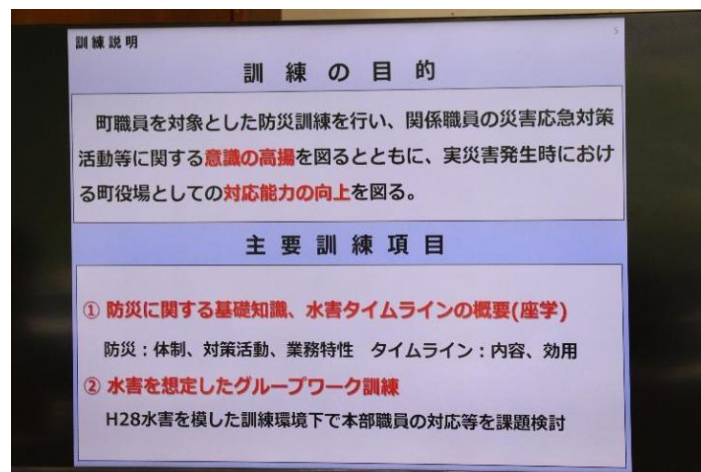
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：南富良野町

	流域治水プロジェクト2. 0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時における職員の教育・訓練に関する事項
対策内容	水害タイムラインへの習熟と運用を主眼とした職員参加防災訓練(災害対策本部訓練)	

令和7年度 取組内容

毎年度、出水期前に実施中の職員訓練に関し、H28水害後に入庁の若手職員を対象として「水害タイムラインの概要教育」、係長級以上の職員を対象として「水害想定下のGpワーク訓練(タイムラインの活用を含む)」を行い、タイムラインに対する理解・再確認と職員の防災力の向上を図った。



次年度に向けた予定

職員を対象とした防災訓練は、災害対策本部の運営や応急対策活動の場を主体とし、訓練の主眼や訓練項目を各年度ごと様々に選定して行うことにより、職員各自の総合的な防災力の向上を目指している。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：南富良野町

	流域治水プロジェクト2. 0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	住民参加の地区防災訓練	

令和7年度 取組内容

5年で一巡することを基本として毎年計画的に実施している住民参加の地区防災訓練を行い、避難広報、避難行動、避難所内での訓練(講話、備蓄資器材取扱い、避難所運営ゲーム)を通じて住民の防災意識の高揚と地域の防災力の向上を図った。



次年度に向けた予定

住民参加の防災訓練については、コロナ禍の最中においても、蔓延防止の処置を講じつつ中止することなく継続実施してきた事業であり、その時々々の環境特性にマッチした内容を選定することで、住民の意識高揚効果が高いことから、引き続き創意を凝らして訓練の積み上げを推進する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：南富良野町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの児童・生徒への教育・訓練に関する事項
対策内容	小・中・高校における防災学習の実施	

令和7年度 取組内容

小・中・高校の児童・生徒を対象とした防災学習(一日防災学校を含む)に関し、「知る。考える。実践する。」をキーワードとし、それぞれの成長に合わせ段階的で一貫性がある体系的な教育を目指し、各校の担当教諭等と綿密な打ち合わせを行いつつ実施中。



次年度に向けた予定

引き続き、一貫性ある防災教育の実施を追求しながら事業を継続する。

札幌管区气象台
旭川地方气象台

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区气象台
(空知川地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をとした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・空知総合振興局及び関係する全2市（赤平市・芦別市）と、個別の懇談を実施した。
- ・空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施した。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・電話による自治体等からの問合せに対して、のべ2回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

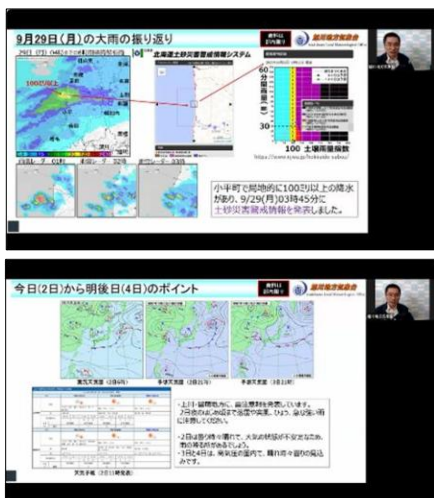
実施主体：
旭川地方气象台
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動に資するよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

■ 防災連携TVによる気象解説(定時・臨時)

毎週木曜日の定期開催と警報級の可能性が高まったときに臨時開催。気象解説以外にも振り返りや参加機関含めた情報提供の共有。
(旭川・留萌各開発建設部、上川・留萌各振興局、气象台の共催)



■ 防災気象ワークショップの開催

气象台が日々発表する防災気象情報の利活用をより促進いただくことを目的とし、疑似的な市町村を想定し防災気象情報に対し各種避難情報の発令判断等をする。(土砂災害編や洪水害編、風水害編)

本日のスケジュール

時刻	所要時間	実施内容
9:30~9:50	20分	「防災気象情報について」
9:50~10:00	10分	お休みの時間
10:00~11:20	80分	現在の状況に対し、市町村の防災グループワーク(土砂災害編・洪水害編・風水害編)
11:20~11:30	10分	ご挨拶

【お要領】

【グループワーク】2日 16:16

入手した気象情報等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① 町として、洪水被害に耐えておられる状況はどの程度ですか？
 - 町では、どのような対策を講じていますか？
 - 避難要請情報(「避難しなさい」)を町民に伝えるべきかどうか？
 - この町域と想定するべきですか？
 - 今後、どのような対策を講じていきますか？
- ② 現在の状況に対して、市町村の防災グループワークはどの程度ですか？
 - この町域の中で、どのようなことを想定して検討してください。

※上記2点を町民に説明することを前提に、理由を整理してください。

40分で検討してください。



令和7年5月16日(金)
富良野市役所において、
洪水害編を実施。

次年度に向けた予定

- ・ 「上川・留萌管内防災連携TV」による平時・緊急時の解説や「市町村との顕著事例振り返り」等を実施する。
- ・ 市町村防災担当者等を対象とした、「気象防災ワークショップ」の取組みを引き続き実施する。

空知森林管理署
上川南部森林管理署

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知
森林管理署
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、炭山川治山工事(山腹工0.30ha)を実施し「流域治水」の推進を図った。

施行前



実施後



次年度に向けた予定 など
炭山川治山工事(山腹工0.21ha予定)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	つる切による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

つる切実施前



つる切実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2. 0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
北海道森林管理局
上川南部森林管理署

(空知川地域部会)

■令和7年度 取組内容

・水源かん養及び土砂流出防止等森林の持つ公益的機能維持・増進に向けて、森林整備事業(下刈り、間伐等)を実施

実施後



実施後



次年度に向け引き続き、流域治水の取組とも連携し森林整備(間伐等)及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	

実施主体：
森林整備センター
(空知川地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・流域治水に資する下刈等の森林整備を実施。

下刈実施前



下刈実施後



次年度以降も下刈等の森林整備を計画的に実施

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・北部耕地出張所

上川総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・南部耕地出張所

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

農業用水利施設(排水路)の整備



田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	水田の貯留機能向上	

実施主体：
上川総合振興局
産業振興部整備課・
南部耕地出張所
(空知川地域部会)

令和7年度 取組内容

- ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行った。

実施内容

「田んぼダム」の手引き

令和4年4月
農林水産省 農村振興局 整備部



施策の内容

概要

- ・「田んぼダム」とは、「田んぼダム」を実施する地域やその下流域の湛水被害リスクを低減するための取組です。
- ・水田の落水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整板などの器具を取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、溢れる水の量や範囲を抑制することができます。

【「田んぼダム」を実施】

【「田んぼダム」を未実施】

流域治水施策集より

次年度に向けた予定 など

- ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

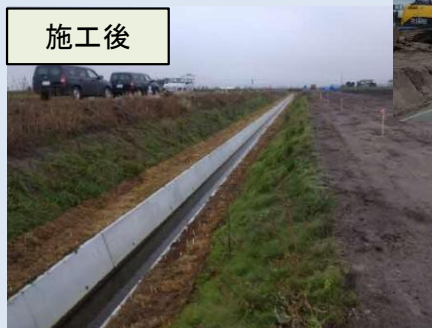
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業農村整備事業の実施	

実施主体：
 上川総合振興局
 産業振興部整備課・
 南部耕地出張所
 （空知川地域部会）

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施。



農業用水利施設(排水路)の整備



区画整理

- 令和8年度についても農業農村整備事業を継続実施し水田貯留の機能向上を図る。

空知総合振興局 産業振興部
・林務課
・森林室

上川総合振興局 産業振興部
・林務課
・南部森林室

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：北海道空知
総合振興局産業振興部
林務課

(空知川地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 芦別市、赤平市において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

森林整備事業(間伐)【赤平市】



森林整備事業(植栽)【赤平市】



■次年度以降の取り組み(予定)

- ・ 要望のあった市町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知総合振興局森林室
(空知川地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・中の沢地区保安林総合改良工事(芦別市)を実施
- ・空知団地育林事業を芦別市、赤平市にて実施



溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

次年度に向けた予定 など

- ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
- ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

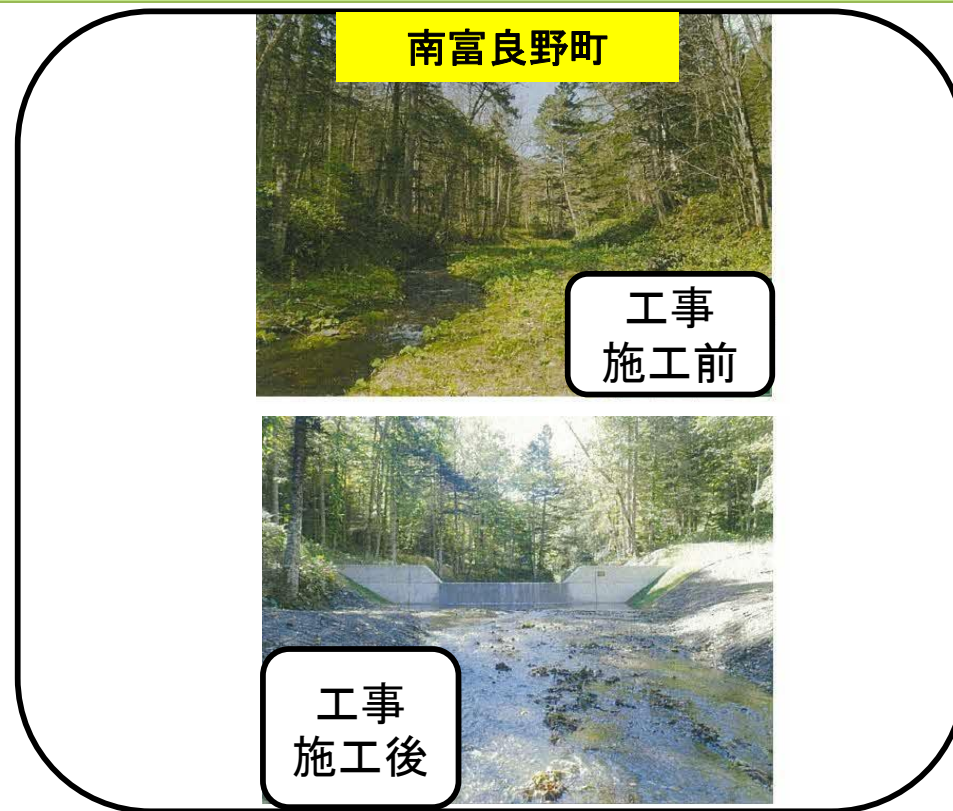
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
上川総合振興局林務課
(空知川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、中富良野町・南富良野町で継続、富良野市では新規に治山事業を実施し「流域治水」の推進を図った。



次年度に向けた予定
次年度以降も引き続き治山ダムや山腹工、森林整備といった治山事業を実施予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能の維持・向上のための整備	

実施主体：
上川総合振興局林務課
(空知川地域部会)

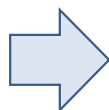
令和7年度 取組内容

- R7年度においては、富良野市・上富良野町・中富良野町・南富良野町の森林において、水源涵養機能の維持・向上のための間伐及び造林等の事業を実施し、「流域治水」の推進を図った。

間伐前の状況



間伐後の状況



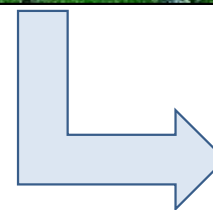
間伐(造材)実施状況



植栽前の状況



植栽後の状況



次年度に向けた予定
次年度以降も引き続き計画的に間伐及び造林等の森林整備を実施予定

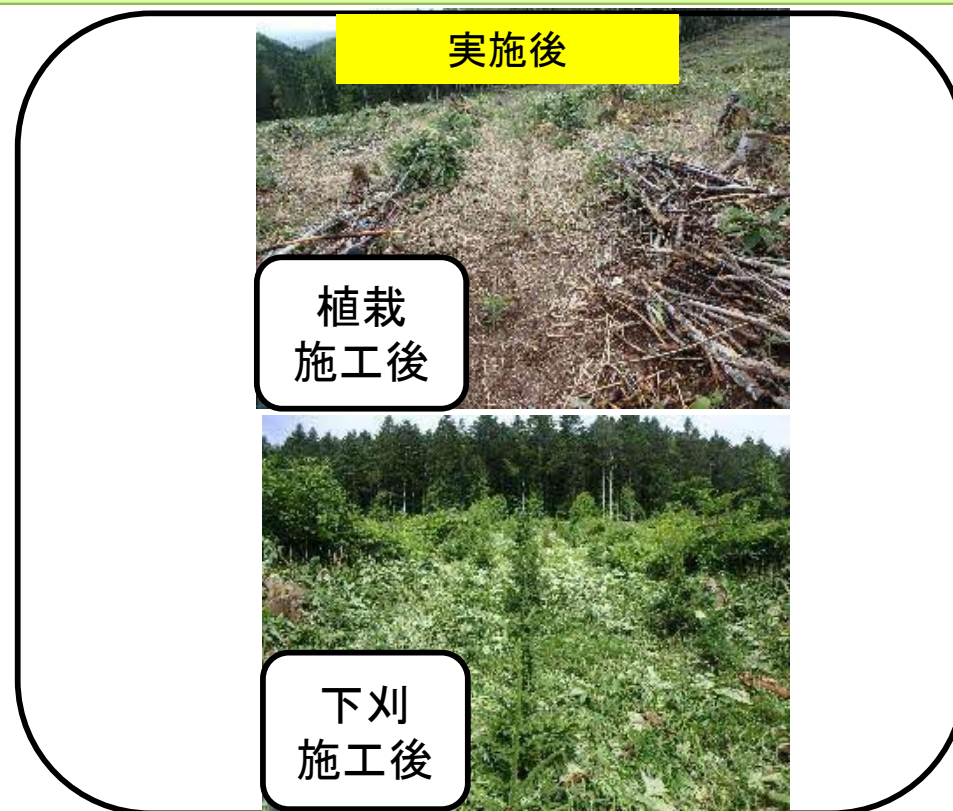
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
上川南部森林室
(空知川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた南富良野町にて、植栽・下刈等の森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。



次年度に向けた予定
次年度以降も引き続き計画的に植栽・除間伐・下刈等の森林整備を実施予定

空知総合振興局
札幌建設管理部

上川総合振興局
旭川建設管理部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

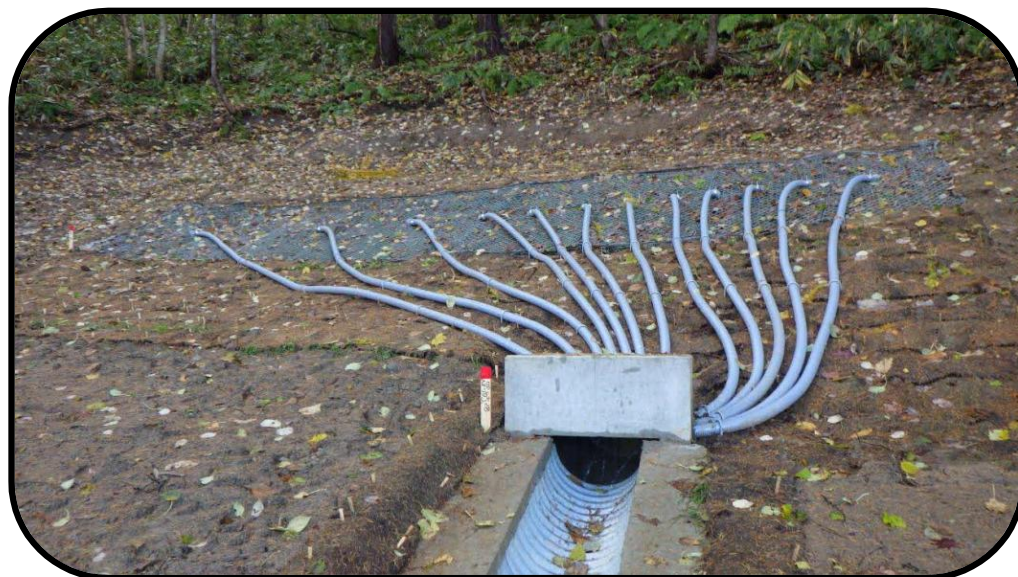
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	地すべり対策施設整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(空知川地域部
会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた芦別本町地すべり対策施設整備、石山川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

芦別本町地すべり(実施後)



石山川(実施後)



次年度に向けた予定 など

- ・ 次年度以降も引き続き、継続実施している芦別本町地すべり対策施設整備等を実施する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

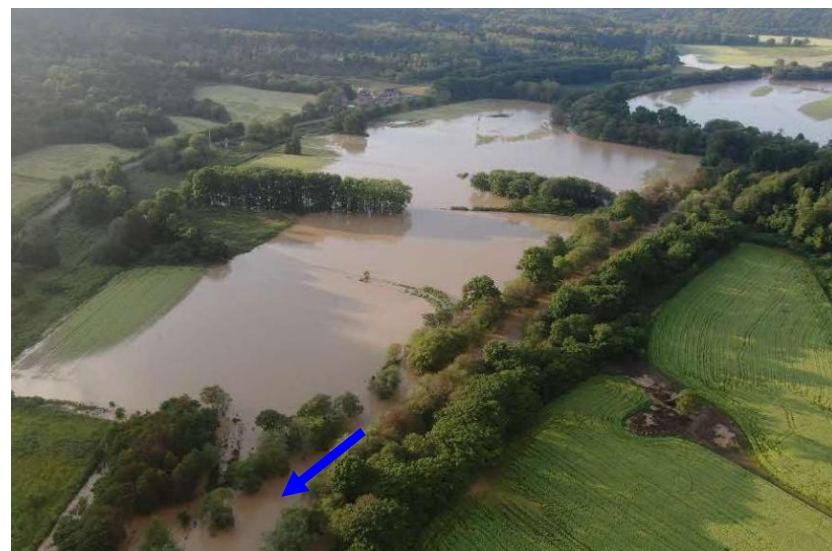
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	河道掘削	

実施主体
：旭川建設管理部
(雨竜川外部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた雨竜川の河道掘削を実施し、「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



雨竜川

次年度に向けた予定

- ・引き続き、雨竜川の河道掘削を進める。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	河道掘削、砂防施設整備	

実施主体
：旭川建設管理部
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

・ R7年度においては、継続実施していた富良野川及び支川の河道掘削、富良野川火山砂防施設の整備を実施し、「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



富良野川

次年度に向けた予定

・引き続き、富良野川及び支川の河道掘削、富良野川火山砂防施設の整備を進める。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	1日防災学校の企画・支援／市町村が実施する訓練・研修・講習会等への支援	

実施主体：
上川総合振興局
(空知川部会)

■令和7年度 取組内容

- 1日防災学校では、ハザードマップ(リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言)や、逃げ遅れの原因となる心理状態(正常性バイアス)等について、クイズやグループ討議等により理解を促し、地域防災力の強化につなげる。
- 市町村が実施する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し、災害対応力の向上に寄与。

令和7年度に上川管内で実施した(予定含む)各種支援

日時	訓練名	対象者
7/6	和寒町防災研修会	住民
7/15	幌加内中学校1日防災学校	中学生、教員
7/28	幌加内町災害対策懇談会	関係機関、住民
8/3	富良野市災害対策本部訓練	職員、関係機関、住民
8/28	東神楽小学校1日防災学校	小学生
9/1	和寒中学校1日防災学校	中学生、教員
9/5	比布中央学校1日防災学校	小・中学生、保護者、関係機関
11/4	大雪山火山噴火防災訓練	職員、関係機関
11/5	中富良野町住民避難訓練	職員、関係機関、住民
2月中旬	十勝岳火山噴火総合防災訓練	職員、関係機関、住民



東神楽小学校1日防災学校



富良野市災害対策本部訓練

次年度に向けた予定 など

- 地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災に関係する各種研修会の開催	

実施主体：
上川総合振興局
(空知川部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 平常時や災害時における防災知識を習得し、地域における防災活動のリーダーとして地域防災活動を推進する「北海道地域防災マスター」を育成するため、新規認定研修会や、マスター登録者の知識の向上等を目的としたフォローアップ研修を開催。
- ・ 道民の方々に避難所生活や避難所運営を自分事としてとらえ、地域の防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に道が作成している、「避難所運営ゲーム(HUG)北海道2025(愛称:Doはぐ)」の実施に必要な講師を養成する研修会を開催。



Doはぐ講師養成研修会 in 美瑛2025



北海道地域防災マスター認定研修会
in 中富良野町



Doはぐセット

次年度に向けた予定 など

- ・ 地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：旭建農業
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を発揮し、「流域治水」の推進を図った。

実施前

日新ダム



【貯水位運用前】
5月下旬の状況

実施後

日新ダム



【貯水位運用】
8月1日から8月31日 EL=302.00m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：旭建農業
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を発揮し、「流域治水」の推進を図った。

実施前

東郷ダム



【貯水位運用前】
4月下旬の状況

実施後

東郷ダム



【貯水位運用】
8月6日から9月5日 EL=379.14m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。

札幌開発建設部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害を軽減させる取り組みの推進	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	小中学校への防災教育授業の実施による、防災意識の啓発等	

実施主体：
富良野市
空知川河川事務所

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、富良野市内小中学校への防災教育授業を実施した。

・防災教育授業の実施



【実施状況】

- ・空知川河川事務所による、水害対応に関する防災教育授業の実施

次年度以降の取組(予定) : 令和8年度においても、継続して協力・実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害を軽減させる取り組みの推進	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	連携市町村で開催された体験型防災イベントで講話を実施、防災意識の啓発等	

実施主体：芦別市

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、芦別市内で開催された体験型防災イベントへの協力を行った。

・講話の実施



【実施状況】

- ・空知川河川事務所による、水害に関する講話の実施

次年度以降の取組(予定)：令和8年度においても、継続して協力・実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	流下能力阻害軽減のため河岸の樹木伐開・河道掘削の実施	

実施主体：
富良野市
空知川河川事務所

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、市街地への外水氾濫を抑制するため、河岸に繁茂した樹木の伐開・河道掘削を実施した。

◎樹木伐開

◎河道掘削



次年度以降の取組(予定) : 令和8年度においても、継続して協力・実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：札建農業
(空知川地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を發揮し、「流域治水」の推進を図った。

実施前

エルムダム



【貯水位運用前】
6月上旬の状況

実施後

エルムダム



【貯水位運用】
8月1日から8月31日 EL=422.83m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。